

公益財団法人 横浜市緑の協会
設立40周年記念誌





外交官の家



40th Anniversary

目次

- | | |
|----|---------------------|
| 1 | 設立 40 周年を迎えて |
| 2 | 設立から現在までの経過 |
| 3 | 協会のあゆみ |
| 5 | 横浜市との協約 |
| 7 | 組織の変遷 |
| 9 | 事業と事業費の推移 |
| 12 | 緑化推進事業 |
| 22 | 公園事業 |
| 32 | 動物園事業 |
| 44 | 経営事業 |
| 49 | 横浜市緑の協会設立 40 周年記念事業 |
| 52 | 資料編 |

設立40周年を迎えて

公益財団法人横浜市緑の協会は、令和6年（2024年）10月に設立40周年を迎えました。この大きな節目を迎えることができましたことは、ひとえに市民の皆様や多くの団体、企業の方々のご支援、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

当協会は、設立当初より都市緑化の推進、都市公園及び動物園の管理運営等の公益目的事業を、横浜市と協力し、市民、団体、企業の皆様との連携により事業を行ってまいりました。

最近の10年間では、緑化推進事業では、2017年全国都市緑化よこはまフェアを契機に春・秋の里山ガーデンフェスタを実行委員会により開催するとともに、よこはま緑の推進団体の皆様とみどり豊かなまちづくりに継続して取り組んでまいりました。

公園事業では新たに三ツ沢公園、根岸森林公園、金沢八景権現山公園の指定管理をスタートさせ、地域防災への取組や特色ある庭園管理を進めました。特に横浜山手西洋館の「花と器のハーモニー」においては、新たなイベント「いけばな七流派の家元が彩る洋空間」を開催し、連携の輪をさらに広げることができました。動物園事業では、3つの動物園でクラウドファンディングを実施する等協会独自の事業を進めました。

また、新たに「公益財団法人横浜市緑の協会SDGs達成に向けた取組2021－2030」を策定し総合的に取組を推進しています。

一方で、昨今の気候変動が及ぼす環境への様々な影響は、脱炭素の取組に加え自然環境の保全と創造、生物多様性の保全へと世界の関心が広がりました。「ネイチャーポジティブ(自然再興)」「ネイチャーベースドソリューション（自然を基盤とした解決策）」は、横浜市とともに当協会が取り組んできた緑施策に通じるものと言えます。また、生物多様性の保全は、動物園の普遍的な役割でもあります。世界の潮流、企業の自然環境への関心が高まる中、当協会のこれまでの取組に対する理解や期待がますます高まってきていると感じます。

そして、令和9年（2027年）には、上瀬谷でGREEN×EXPO 2027が「幸せを創る明日の風景」をテーマに開催されます。地球環境の危機的状況に対して、社会変革を進める原動力は地球環共市民の活躍であり、GREEN×EXPO 2027への参加が不可欠です。当協会としては、これまで連携してきた市民、団体、企業の皆様の参加やこれまでの取組を国内外にアピールする機会と捉え、GREEN×EXPO 2027への積極的な協力を進めていきます。

引き続き50周年に向けて、行政と市民、団体、企業の皆様をつなぐ中間組織として、これまでの連携を大切に、当協会が持つ資源、資産を最大限に活かしながら、緑豊かな横浜市のまちづくり、多くの方が訪れる公園、動物園づくりを目指してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

（公財）横浜市緑の協会
理事長 橋本 健





設立から現在までの経過

公益財団法人横浜市緑の協会は、昭和51年(1976年)7月に任意団体「横浜市公園協会」として発足し、昭和59年(1984年)に「よこはま緑の街づくり基金」の創設に伴い名称を「財団法人横浜市緑の協会」に変更しました。その後、神奈川県から公益認定を受け、平成24年(2012年)4月に「公益財団法人横浜市緑の協会」となりました。

任意団体発足当初の昭和51年(1976年)には、一部の公園プールや公園駐車場の経営をはじめ、屋外広告物の調査等を行っていましたが、年々増加する事業に対応すること、および協会の組織と質の充実を図るため、昭和54年(1979年)3月に「財団法人横浜市公園協会」として登記しました。

この時期、横浜市では、自然の緑が減少する中で民有地緑化の必要性が求められ、市民の皆様からも緑地や公園の確保に関する要請がありました。昭和58年(1983年)には、当時の建設省から「地方における都市緑化基金の設置及び拡充強化の指導」があり、横浜市は市域全体の緑化施策を効果的に進めるために「緑の基金」の設立準備を始めました。

「緑の基金」は既存の横浜市公園協会を活用すべきであるとの方針が示され、基金の名称も「よこはま緑の街づくり基金」と決定されました。

しかし、横浜市公園協会がこの基金を受け入れるためには「寄附行為」の変更と所得税法による「試験研究法人等」の資格取得が必要であったため、「財団法人横浜市緑の協会」として、寄附行為変更認可申請を行い、昭和59年(1984年)10月に登記が完了しました。また、昭和60年(1985年)5月には「試験研究法人等」の資格も取得しました。

これにより、財団法人横浜市緑の協会は、従来の受託及び収益事業に「よこはま緑の街づくり基金」を新たに加え、募金活動を開始するとともに、その運用益を活用した民有地緑化事業に取り組むこととなりました。

平成15年(2003年)6月に地方自治法が改正され、横浜市が指定管理者制度を導入したことに伴い、当協会はこれまでの受託事業から指定管理事業へと大きな変革を遂げてきました。令和6年(2024年)現在、緑化推進事業において「よこはま緑の街づくり基金」の果実を「普及啓発事業」や「緑化奨励事業」、「緑の街づくり事業」等に活用し、横浜市が実施する都市緑化関連事業の推進を支援しています。

さらに、市内3動物園、横浜山手西洋館、海の公園等の公園・施設を適切に管理し、市民のニーズに応じたイベントの実施や施設の積極的な活用、環境教育の推進など、指定管理者としての事業規模が拡大しています。

協会のあゆみ

平成27年度～令和6年度

30周年から40周年の10年間をふりかえります。



協会のあゆみ（主な出来事）



横浜市の動き、国などの動き

平成27年度
(2015年度)

- ▶ 海の公園、横浜市こども植物園の指定管理を開始
- ▶ よこはま緑の街づくり基金の一部を緑化フェア事業積立資産とし、里山会場の整備に協力
- ▶ よこはま動物園「アフリカのサバンナ」全面開園
- ▶ 野毛山動物園で日本初となる絶滅危惧種ヘサキクガメの繁殖に成功

- ▶ 市内初の市民参加型フルマラソン「横浜マラソン」開催
- ▶ 柏町市民の森開園
- ▶ 新橋市民の森開園
- ▶ 旧上瀬谷通信施設が日本に返還され、跡地利用の検討が本格化

平成28年度
(2016年度)

- ▶ よこはま動物園、野毛山動物園、金沢動物園、三ツ沢公園の指定管理を開始
- ▶ よこはま動物園と台北市立動物園が動物園連携協力に関する覚書（パートナー動物園）を締結
- ▶ ホームページ全面リニューアル

- ▶ 南区役所と金沢区役所の新庁舎が完成
- ▶ 熊本地震発生

平成29年度
(2017年度)

- ▶ 俣野別邸庭園の指定管理を開始
- ▶ 全国公園協会協議会総会を開催

- ▶ 第33回全国都市緑化よこはまフェア開催

平成30年度
(2018年度)

- ▶ 里山ガーデンフェスタを実行委員会方式で春、秋の開催を開始
- ▶ 上郷・森の家の管理・運営を終了

- ▶ 市営地下鉄グリーンライン開業10周年。市営バス開業90周年

令和元年度
(2019年度)

- ▶ 横浜山手西洋館等、俣野公園、野島公園、富岡総合公園、岸根公園、馬場花木園、長浜公園の指定管理を開始
- ▶ よこはま動物園開園20周年
- ▶ 横浜市こども植物園開園40周年
- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月中旬頃より横浜市との協議のもと各施設の休園、休館等を実施
- ▶ 旧伊藤博文金沢別邸復元10周年

- ▶ 横浜でラグビーワールドカップ2019開催
- ▶ 相鉄線とJR線が相互直通運転開始

令和2年度
(2020年度)

- ▶ 海の公園、横浜市こども植物園の指定管理を開始
- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「よこはま花と緑の春のフェア」が初めて中止となったほか、横浜市から指示された期間において、動物園での臨時閉園・入場制限、横浜山手西洋館、海の公園、野島公園砂浜等の臨時閉鎖を実施
- ▶ 海の公園が公益財団法人日本ライフセービング協会が実施する「JLA認定海水浴場」の認定を受ける

- ▶ 横浜市政府新庁舎完成
- ▶ 実物大の動くガンダムが山下ふ頭で公開
- ▶ 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言発令
- ▶ 長津田宿市民の森開園



協会のあゆみ（主な出来事）



横浜市の動き、国などの動き

令和3年度 (2021年度)

- ▶ 公益財団法人横浜市緑の協会SDGs達成に向けた取組「2021-2030」を策定
- ▶ 横浜市のSDGs認証制度Y-SDGsにおいて「上位：Superior」の認証、横浜市の横浜健康経営認証において「クラスAA」の認証を受ける
- ▶ 野毛山動物園開園70周年。クラウドファンディングによりレッサーパンダの展示場改修を実施
- ▶ GREEN×EXPO 2027に向け、ガーデンネックレス横浜ガイドボランティアの育成を開始
- ▶ よこはま緑の推進団体、よこはま花と緑の推進リーダー及び市民ボランティアの方々と連携し、新たに「国際園芸博覧会応援花壇」を設置し、管理を開始
- ▶ 金沢動物園開園40周年。インドゾウの自動給水装置設置を行うクラウドファンディングを実施

- ▶ 日本初常設都市型ロープウェイ YOKOHAMA AIR CABIN開業
- ▶ 東京2020オリンピック・パラリンピック開催
- ▶ 戦後初、横浜市の推計人口減少

令和4年度 (2022年度)

- ▶ 根岸森林公園、金沢八景権現山公園、俣野別邸庭園、三ツ沢公園の指定管理を開始
- ▶ 根岸森林公園「森のテラスカフェ」、エリスマン邸喫茶室「Café Ehrismann」の運営を新たに開始
- ▶ 山下公園レストハウスの運営事業者（Park-PFI）に協力団体として参加
- ▶ 横浜市のSDGs認証制度Y-SDGsにおいて「最上位：Supreme」の認証、厚生労働省の女性活躍推進企業認定制度「えるぼし認定」の「3段階目」を取得
- ▶ 横浜市環境創造局（現みどり環境局）、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会、よこはま緑の推進団体連絡協議会と連携し、「2027年国際園芸博覧会への期待」をテーマにしたトークイベントを実施

- ▶ 新橋～横浜間鉄道開業150周年
- ▶ 市営地下鉄開業50周年

令和5年度 (2023年度)

- ▶ 岸根公園、馬場花木園、長浜公園の指定管理を開始
- ▶ よこはま動物園でクラウドファンディングによりミナミアフリカオットセイの日よけ等を設置
- ▶ 横浜山手西洋館7館で開催した「花と器のハーモニー」では、国内初となるいけばな七流派の家元による装飾を実施

- ▶ 相鉄・東急新横浜線開業
- ▶ Kアリーナ横浜開業
- ▶ 新型コロナウイルス感染症5類へ移行

令和6年度 (2024年度)

- ▶ 横浜山手西洋館、俣野公園、野島公園、富岡総合公園の指定管理を開始
- ▶ よこはま動物園開園25周年
- ▶ 公益財団法人横浜市緑の協会設立40周年

- ▶ 能登半島地震発生
- ▶ みどり環境局発足（旧環境創造局）

横浜市との協約

協約とは、団体の公益的使命達成のため、2～5年の一定期間における団体の主要な経営目標を、横浜市の所管局と団体が協議し策定するものです。

目標は、「公益的使命の達成に向けた取組」、「財務に関する取組（財務の改善に向けた取組）」、「人事・組織に関する取組（業務・組織の改革）」の3本柱で構成されています。

公 公益的使命の達成に向けた取組

財 財務に関する取組

業 業務・組織の改革

第4期協約 〈平成27年度～平成29年度〉

1	公	よこはま緑の推進団体登録数の増加 目標：1,060 団体（累計）
2	公	よこはま花と緑の推進リーダー認定者数の増加 目標：180 人（累計）
3	公	施設利用者へのサービス向上のための設備改善 目標：3 か年で 12 施設（161 か所）
4	財	公益事業への還元のための収入の増加 目標：1,700,000 千円
5	業	幹部候補職員の育成 目標：研修年 2 回
6	業	市派遣職員の減 目標：3 か年で 3 人

第5期協約 〈平成30年度～令和2年度〉

1	公	都市緑化を推進する機運を醸成するため、普及開発のイベントを横浜市と連携して実施する 目標：ガーデンネックレス横浜（通年）実施、里山ガーデンフェスタ年 2 回（春・秋）開催（来場者数 24 万人 / 年）、スプリングフェア年 1 回開催
2	公	緑化活動に意欲のある人材を育成するため、よこはま花と緑の推進リーダー新規認定者数を増やす 目標：3 年で新規推進リーダー認定者 40 人以上
3	公	横浜市立動物園が取り組んでいる「種の保存」「環境教育」に関する取組を多様な主体と連携しながら幅広く発信し、動物園の公的役割の認知度向上を図ると共に誘客促進につなげる 目標：① 3 園合計ブログ発信件数 800 件 / 年、閲覧件数 100 万件 / 年 ② アプリなど多様な情報発信サービスが展開されている
4	財	公益事業への還元のための収入の増加 目標：1,305,625 千円
5	業	責任職（幹部候補職員、業務責任者）の育成 目標：研修年 4 回、研修対象者の拡大
6	業	市派遣職員の減 目標：3 か年で 4 人

公 公益的使命の達成に向けた取組

財 財務に関する取組

人 人事・組織に関する取組

第6期協約 〈令和3年度～令和5年度〉

1	公	SDGs の視点による事業の取組推進及び Y-SDGs（横浜市 SDGs 認証制度）の認証取得
2	公	低圧電力等における再エネ 100%電力の導入 目標：令和 3 年度 50%、令和 4 年度 60%、令和 5 年度 70%
3	公	ガーデンネックレス横浜など花や緑に関わる大規模イベントの開催により、緑化への関心が高まるとともに、文化・観光の振興、賑わいづくりなどにも寄与している 目標：里山ガーデンフェスタ入場者数毎年 24 万人

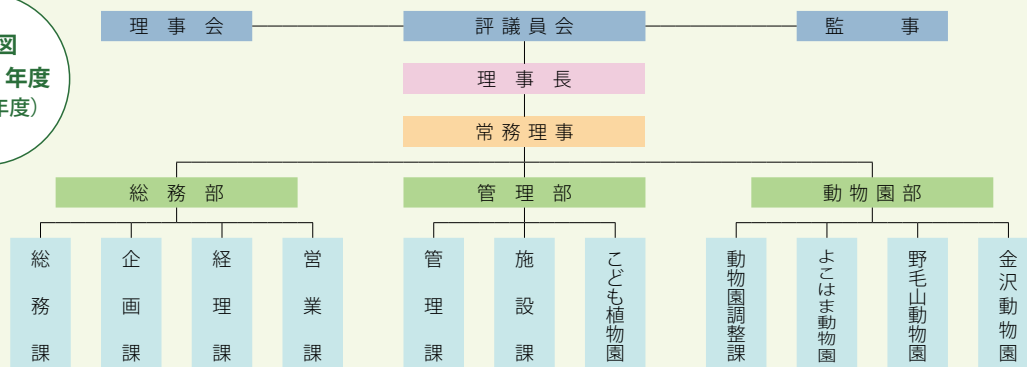
4	公	国際園芸博覧会に向けた新たな人材育成および活用スキームの構築。よこはま花と緑の推進リーダーの中から、花や緑の専門知識を習得したガーデンネックレス横浜ガイドボランティアを育成し、里山ガーデンフェスタ会場で活用 目標：ガイドボランティア育成毎年 10 名以上
5	公	国際園芸博覧会の機運醸成を目的とした市民協働花壇の設置・育成 目標：協会が管理する指定管理公園への市民協働花壇の設置・育成累計 3 か所以上
6	公	種の保存（守り続ける） 世界と手を取り合って野生動物を計画的に守っていく役割 目標：多様な行動を引き出す飼育環境改善（5 件 / 年）（各園）
7	公	環境教育（知り伝える） 動物や生息環境のことを多くの人々へ伝え、行動につなげる役割 目標：出張動物園スクール等（リモート含む）の実施回数（40 回 / 年）（3 園合計）
8	公	レクリエーション（出会い感じる） 動物に魅せられ、ともに生きることの大切さを感じられる公園としての役割 目標：季節ごとに特色あるイベントや企画展の実施（4 件 / 年）（各園）
9	公	調査研究（理解し学ぶ） 動物に対する科学的な知識を深め、その情報を市民と共有する役割 目標：市民向け研究発表等の実施（15 回 / 年）（3 園合計）
10	財	公益への還元として、指定管理の協定上、指定管理者として実施すべき項目以外にも、施設・設備・備品等の修繕・更新・調達等を実施し、市の財政負担軽減及び市民サービスの向上をはかる 目標：公園・動物園事業における公益への還元（1,000 万円 / 年）
11	財	10 を実施したうえでの資金収支計算書における収支均衡を維持（毎年）
12	人	人材育成ビジョンの改定
13	人	改定した人材育成ビジョンの考え方に基づく研修等の実施

第7期協約 〈令和6年度～令和8年度〉

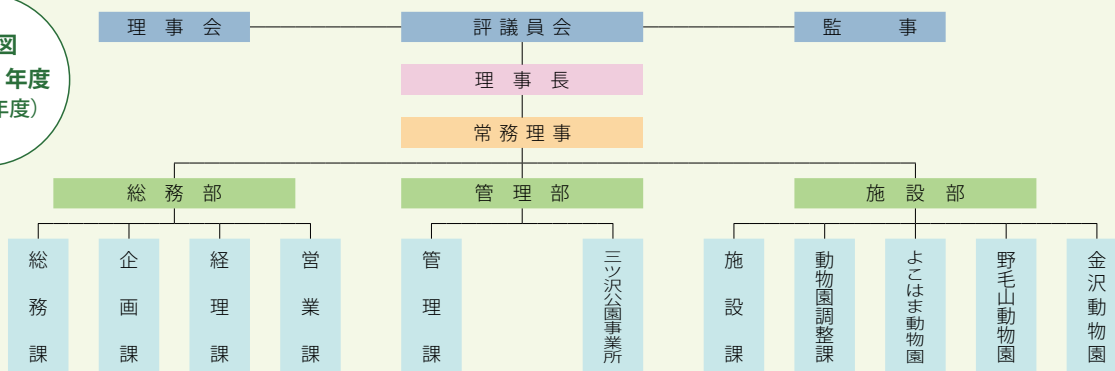
1	公	里山ガーデンフェスタの開催による緑・自然への関心の醸成 目標：里山ガーデンフェスタ来場者アンケートによる満足度調査 満足度 9 割以上
2	公	緑化に取り組む市民活動の育成 目標：よこはま緑の推進団体 新規登録団体数 30 団体 / 年
3	公	GREEN × EXPO 2027 での活躍も視野に入れたガイドボランティア育成 目標：ガイドボランティア育成 15 名以上 / 年
4	公	GREEN × EXPO 2027 機運醸成の取組 目標：協会管理の指定管理公園への GREEN × EXPO 2027 応援花壇の設置・管理 9 公園 / 3 年・広報の展開 / 通年
5	公	動物園における環境教育・学習の推進 目標：動物園における環境教育・学習の推進 参加者数 令和 6 年度 244,000 人、令和 7 年度 251,000 人、令和 8 年度 258,000 人
6	公	動物園における種の保存への取組 目標：動物園における国際的な繁殖計画への参画・連携による種の保存への取組 10 種
7	財	資金収支計算書における収支均衡を維持（毎年）
8	財	公益への還元として、指定管理の協定上、指定管理者として実施すべき項目以外にも、施設・設備・備品等の修繕・更新・調達等を実施し、市の財政負担軽減及び市民サービスの向上を図る 公園・動物園事業における公益への還元（1,000 万円 / 年）
9	人	女性活躍の推進による「えるぼし認定（3 段階目）」の継続取得
10	人	資格取得支援制度を見直し、新たな人材育成支援制度の創設

組織の変遷

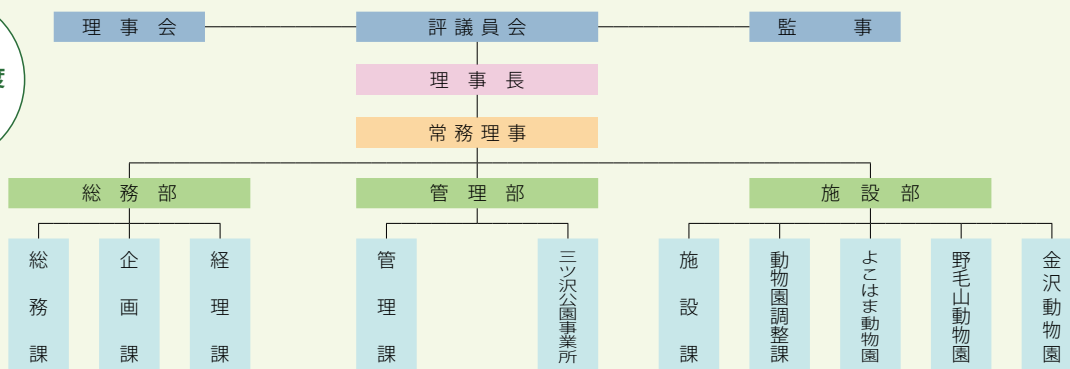
組織図
平成 27 年度
(2015 年度)



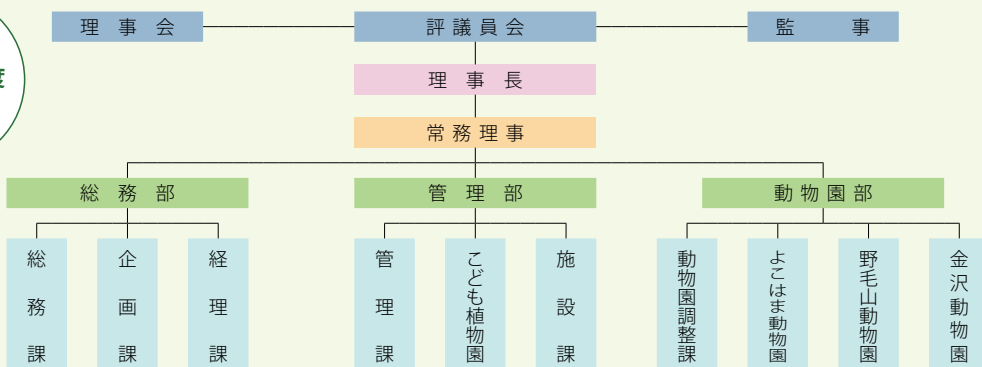
組織図
平成 28 年度
(2016 年度)



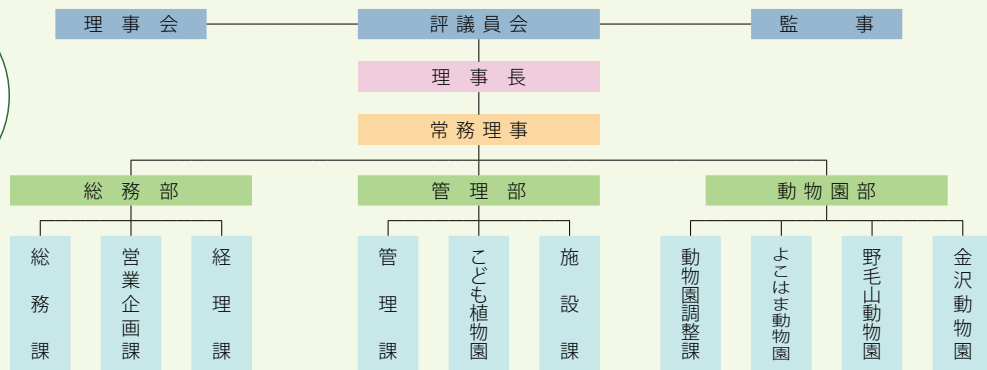
組織図
平成 29 年度
(2017 年度)



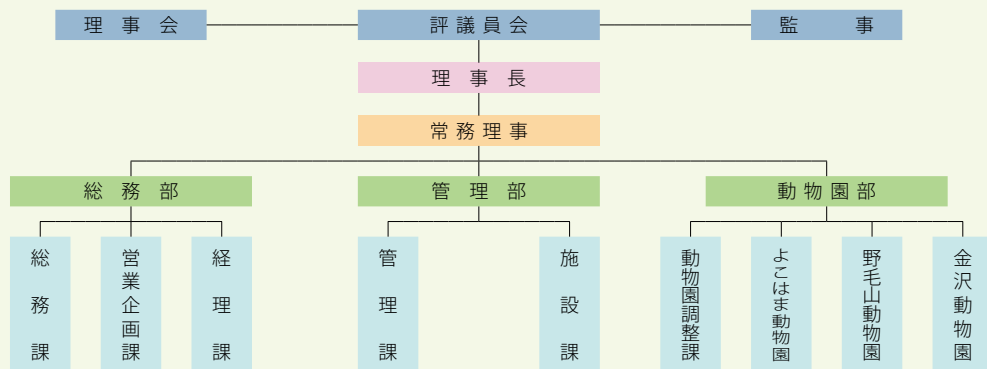
組織図
平成 30 年度
(2018 年度)



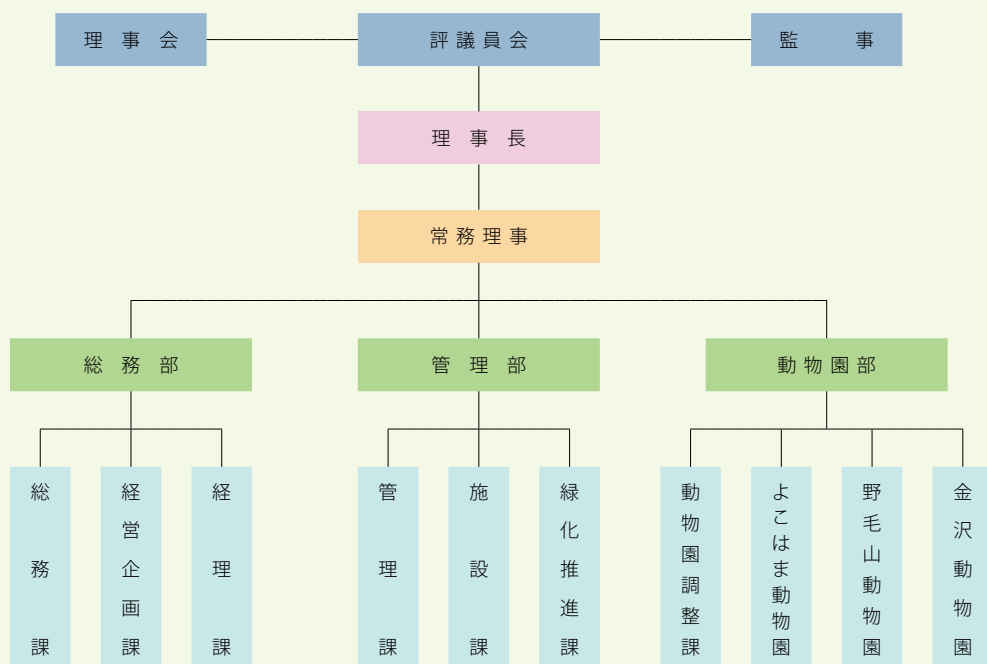
組織図
令和元年度
(2019年度)
～
令和2年度
(2020年度)



組織図
令和3年度
(2021年度)

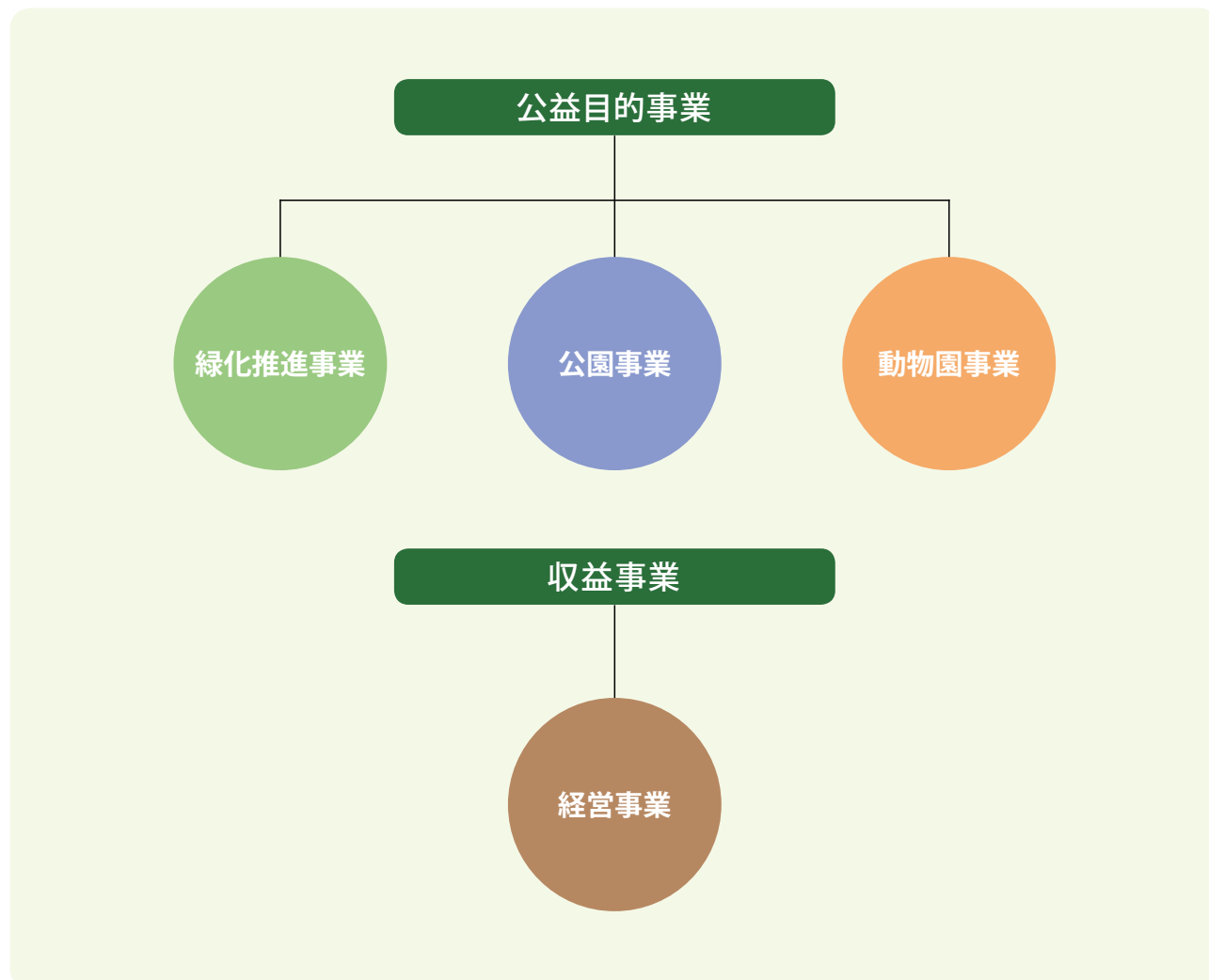


組織図
令和4年度
(2022年度)
～
令和6年度現在
(2024年度)



事業と事業費の推移

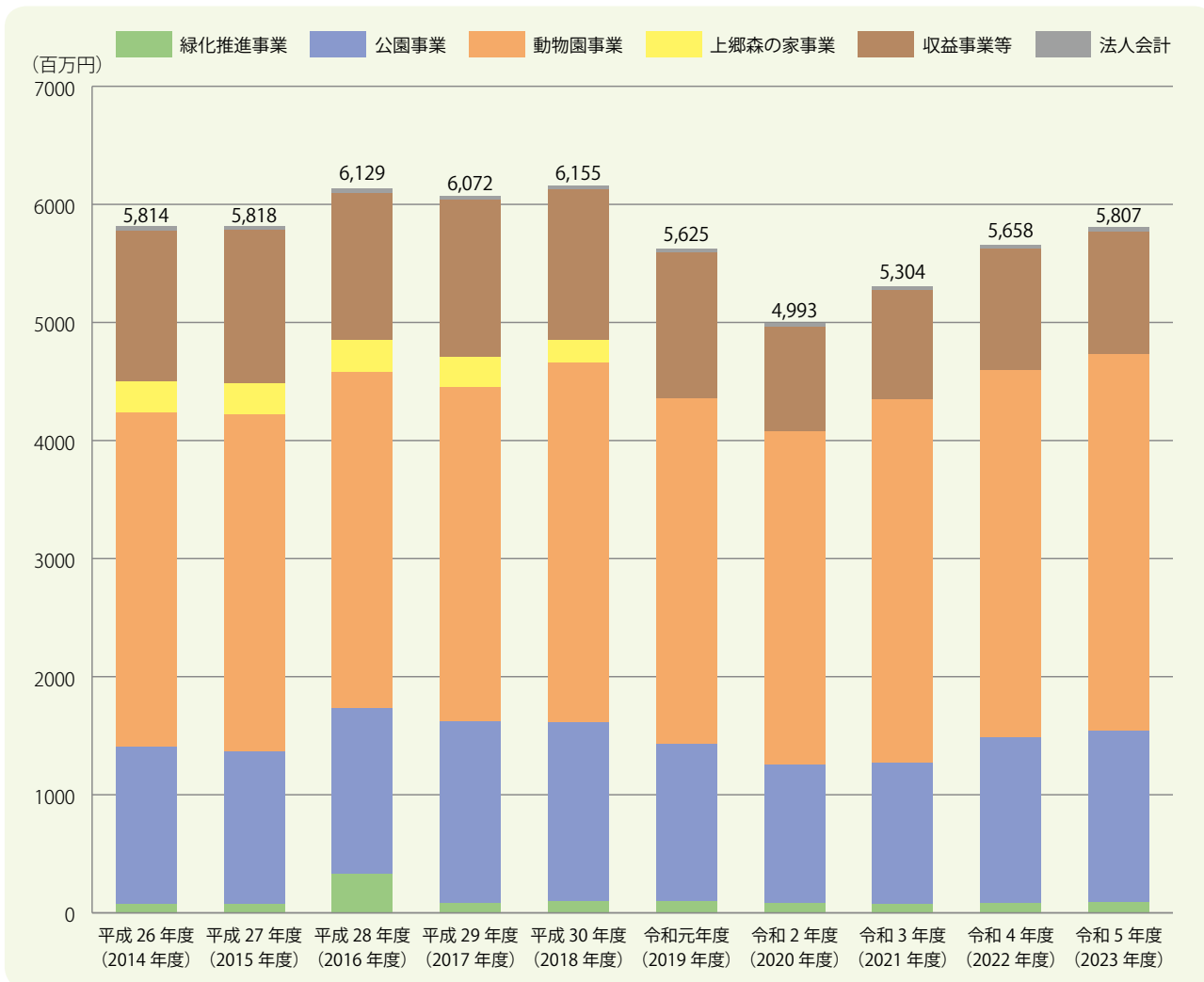
● 協会の事業



● 事業の内容

No.	内 容
1	よこはま緑の街づくり基金の造成、管理及び運用並びに都市緑化の推進及び都市環境の改善に関する事業
2	公園緑地に関する普及啓発、公園緑地を活用した地域連携の促進及び公園緑地の利用の促進に関する事業
3	動物園を活用した野生生物の飼育展示・保全及び普及啓発並びに動物園の利用の促進に関する事業
4	売店、駐車場、その他の公園緑地及び動物園等に関する附帯事業の経営
5	その他この法人の目的を達成するために必要な事業

● 事業費の推移



● 職員数の推移

年 度	平成 26 (2014)	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)	令和元 (2019)	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)
固 有 (再雇用、横浜市 派遣等含む)	138	134	147	148	154	166	158	158	167	186
固 有 (嘱託)	100	104	110	116	113	97	106	107	103	98
合 計	238	238	257	264	267	263	264	265	270	284

Column コラム 緑の協会の持続可能な経営に向けた取組

●SDGs達成に向けた取組やNP、NbSへの貢献

令和3年（2021年）4月に「公益財団法人横浜市緑の協会SDGs達成に向けた取組2021-2030」を策定し、環境、社会、経済の三側面と、これらを支えるガバナンスに関するSDGs達成に向けた取組を掲げ、これらを統合的に推進しています。

加えて、近年の気候変動等が及ぼす環境への様々な影響に対し、NP（ネイチャーポジティブ＝自然再興）が世界の潮流となっていることに伴い、当協会がこれまで担ってきた都市緑化の推進や、公園・動物園における生物多様性保全等を通じたNbS（ネイチャーベースドソリューション＝自然を基盤とした解決策）へ貢献する取組を推進しています。

目 標	ターゲット	横浜市緑の協会SDGsの取組
環境     	13.3 15.1 15.a	花と緑によるまちづくりの推進 民有地の緑化推進、緑の担い手育成、花と緑による賑わいの創出により、陸の豊かさを守るとともに、気候変動の緩和にも貢献します。
	14.2 15.5 15.a	生物多様性の保全への貢献 動物園、植物園による種の保存や、公園・海辺の環境保全により、陸の豊かさ、海の豊かさを守ります。
	7.2 12.5 12.8 13.3	環境負荷の低減に向けた取組 グリーン電力の導入や、ブルーカーボンによる温暖化対策、廃棄物の削減などにより、施設の管理運営における環境負荷の低減と、気候変動の緩和・影響軽減に貢献します。
	4.7	動物園・植物園などによる多様な教育普及 動物園、植物園、公園などにおける多様な教育活動を通じて、持続可能な社会にかかる普及啓発に取り組みます。
社会  	11.7	市民参加と地域協働による地域の活性化 各施設において市民参加、地域協働、ボランティア活動の推進により、地域交流が活発なまちづくりに貢献します。
	11.7 11.b	誰もが安全・安心・快適に利用できる施設の管理運営 安全・安心で誰もが利用しやすい施設提供や災害対策など、公共施設の役割を果たし、まちづくりに貢献します。
	8.9	文化芸術による魅力・賑わいの創出 歴史的建造物の保存と文化芸術活動などへの活用などにより賑わいを創出し、観光客の誘致に取り組みます。
経済 	8.9	地域事業者との連携による地域経済の活性化 地域の企業・団体などと連携し、地元産品や技術力をいかした事業の推進により、地域経済の活性化に貢献します。
	8.5 8.8	誰もが活躍し、働きがいのある職場環境づくり 健康経営や、えるぼしの認定継続、ワーク・ライフ・バランスの推進など、働きがいのある職場環境づくりに取り組みます。
	17.16 17.17	多様な主体とのパートナーシップによる事業推進 当協会のすべての事業において多様な主体と連携することにより、環境、社会、経済のすべての側面におけるSDGsの達成に効果的に取り組みます。
ガバナンス 		

各種認証

・横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”

横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”において「最上位-Supreme」の認証を受けました。



・かながわ健康企業宣言

全国健康保険協会神奈川支部から、「かながわ健康企業宣言【健康優良企業】」に認定されました。



・横浜健康経営認証

横浜健康経営認証2024において、「クラスAA」の認証を受けました。



・女性活躍推進企業認定制度「えるぼし認定」

女性活躍推進企業認定制度「えるぼし認定」において、厚生労働大臣より、「3段階目」に認定されました。



・脱炭素取組宣言

横浜市が行っている脱炭素取組宣言に宣言しました。





緑化推進事業

公益目的事業



©Photo by MAKI KAWAI

よこはま緑の街づくり基金

「よこはま緑の街づくり基金」は横浜市内の民有地緑化を推進するため、昭和59年（1984年）に創設され、令和6年（2024年）で40周年を迎えることができました。

創設以来、多くの市民、企業、各種団体の皆様からの寄付金等を積み立て、その運用益で、花と緑の大切さを理解していただくイベントの実施や、市内各地の花と緑に関する団体の活動支援、活動の担い手養成等を進めています。今後も皆様とともに、花と緑があふれる街づくりをさらに推進してまいります。

基金の造成状況と運用益

（単位：千円）

年 度	昭和 59～平成 25 (1984～2013)	平成 26 (2014)	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)
造成額		15,050	12,805	13,509	12,035	13,613
累 計	2,853,434	2,868,484	2,631,289	2,644,798	2,656,833	2,670,446
運用益		39,331	35,271	29,355	28,972	29,140

※平成27年度に累計が2億5,000万円減少しているのは、第33回全国都市緑化よこはまフェアへの負担金として取崩したため

年 度	令和元 (2019)	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)
造成額	11,970	6,588	7,079	4,574	5,191
累 計	2,682,416	2,689,004	2,696,083	2,700,657	2,705,848
運用益	29,332	28,728	25,948	29,601	23,600

主な寄付金の内訳

（寄付額 単位：千円）

内 訳	昭和 59～平成 25 (1984～2013)	平成 26～令和 5 (2014～2023)	総合計
企 業	1,584 件 (329,992)	288 件 (79,222)	1,872 件 (409,214)
市 民	4,564 件 (132,676)	316 件 (15,994)	4,880 件 (148,670)
募金箱	3,362 件 (83,842)	756 件 (7,197)	4,118 件 (91,039)



区民まつりでの募金活動の様子



花壇作り研修会

緑化奨励

● 生垣設置助成

緑の街づくりのために、個人住宅の道路に面した部分に生垣を設置する費用の一部を助成します。



● 記念植樹助成

市民団体等が活動の節目を記念して、記念樹を植栽する経費の一部を助成します。





普及啓発

●よこはま花と緑のスプリングフェア

よこはま花と緑のスプリングフェアは、昭和54年（1979年）から、人と花と緑のふれあいを深め、市民一人ひとりが身近な花や緑を守り育てる活動を進めることを目的にスタートしました。以来、横浜に春の訪れを告げる風物詩として、毎年多くのお客様にご来場いただいています。会場のひとつの横浜公園では、10万本を超えるチューリップが色とりどりに咲き揃い、その圧巻の景色は横浜が誇る花の名所となっています。（よこはま花と緑のスプリングフェア運営委員会運営）



協会設立30周年から40周年の10年間の出来事

- 平成28年度（2016年度） チューリップタワーを市民と制作
- 平成29年度（2017年度） 「全国都市緑化よこはまフェア」連携イベントとして開催
- 平成30年度（2018年度） 第40回記念としてステージパフォーマンス、ワークショップを実施
- 令和2年度（2020年度） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- 令和3年度（2021年度） 「ガーデンネックレス横浜」の主要イベントとして開催
「花と緑の園芸館」を産業貿易センターホールで実施
- 令和5年度（2023年度） 「フラワーマーケット」「農福マルシェ」を実施
- 令和6年度（2024年度） GREEN×EXPO 2027 PRブースを設置



チューリップタワー



オープニングセレモニー



ステージパフォーマンス



ワークショップ



フラワーマーケット



花と緑の園芸館



ガーデンネックレス横浜マスコットキャラクター
「ガーデンベア」グリーティング



GREEN×EXPO 2027 PRブース

●横浜公園のチューリップ球根植え付け

横浜公園のチューリップは、毎年11月に市民ボランティアの皆様にご協力いただき球根を植え付けます。春の開花まで、市民の皆様とともにその成長を見守ります。



●花壇展

花壇展は、市内の造園会社や花卉生産団体が一体となり、観光客で賑わう山下公園で、昭和38年（1963年）に第1回が開催されました。現在では、「よこはま花と緑のスプリングフェア」の一環として開催し、令和5年（2023年）に、第60回を迎えました。





● 里山ガーデンフェスタ

里山ガーデンフェスタは、花と緑を愛する人の心をつなぎ、自然環境を育む横浜市の取組「ガーデンネックレス横浜」の見どころとして、市内最大級10,000m²の大花壇や、ウェルカムガーデンなどを公開しています。花や緑に囲まれた特別な空間を市民の皆様にお楽しみいただいています。（ガーデンネックレス横浜実行委員会運営）

【開催日程】春と秋に開催

【入場料】無料

【場所】里山ガーデン（よこはま動物園ズーラシア隣接）横浜市旭区上白根町1425-4



©Photo by MAKI KAWAI

● ガーデンネックレス横浜ガイドボランティアの育成

よこはま緑の推進団体、よこはま花と緑の推進リーダーの中から受講生を募集し、園芸に関する知識やガイドを実施するために必要な技術の習得を目的とした研修を実施しています。修了後は、横浜市で開催するガーデンネックレス横浜の会場で、市内外からお越しの来場者に向けて、花や緑の見どころ等を案内しています。また、令和9年（2027年）に横浜で開催されるGREEN×EXPO 2027でさらなる活躍を目指します。



よこはま緑の推進団体

よこはま緑の推進団体は、市内の公開性のある場所で、花壇づくり等緑化活動に取り組む市民団体で、現在約730団体が登録し横浜市内で活躍しています。

登録団体は、よこはま緑の推進団体連絡協議会、各区連絡会に所属し、市内の様々な緑化活動にご参加いただいています。



●よこはま緑の推進団体への支援

年に2回（春・秋）の花苗等を助成するほか、園芸資材の購入支援、研修会やイベント情報の提供等、様々な緑化活動のサポートを行っています。





●優秀活動表彰

よこはま緑の推進団体として積極的に緑化活動に取り組み、特に顕著な成果をあげた団体を優秀活動団体として表彰する制度です。平成27年度（2015年度）から令和6年度（2024年度）までに20団体が受賞し、最優秀活動賞を受賞した9団体が横浜市の推薦を受け、国土交通省「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞しています。



●よこはま花と緑の推進リーダー育成講座

よこはま緑の推進団体の緑化に関する知識・技術の向上を目的に「よこはま花と緑の推進リーダー育成講座」を開催しています。育成講座修了後は、各区連絡会と連携しながら地域の活動を牽引する推進リーダーとして活躍していただいています。



横浜みどりアップ計画の推進

当協会では、「横浜みどりアップ計画〔2024-2028〕^{※1}」における3つの柱のうちの柱3「市民が実感できる緑や花をつくる」に位置付けられた、民有地の緑化にかかる3つの事業について、令和6年（2024年）4月1日より様々な緑化活動支援を開始しました。

※1 横浜みどりアップ計画〔2024-2028〕

横浜市は大都市でありながら、市民生活の身近な場所に、多くの樹林地や農地等の多様な緑を有しています。これらの緑を次世代に引き継ぐため、市は「横浜水と緑の基本計画」の重点的な取組として、平成21年度（2009年度）から「横浜みどりアップ計画」を推進しています。

●地域緑のまちづくり

市民の皆様が主体となって、住宅街や商店街、オフィス街、工場地帯等様々な街で、地域にふさわしい緑を増やす計画をつくり、計画を実現していくための取組を支援する事業です。横浜市が費用の一部を助成します（市街化調整区域を除く）。

当協会では、提案書・計画書作成の支援、活動継続のためのアドバイザー派遣を行います。また、よこはま緑の推進団体との連携を進め、地域ぐるみの緑化活動を支援していきます。



整備事例



アドバイザー派遣の様子

●保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

民間の保育園等における園庭・校庭の芝生化やビオトープの整備、花壇づくり、屋上や壁面の緑化等の緑化設備にかかる費用の一部を助成します。また、芝生やビオトープに関する技術支援や、指導者・子ども向けに花や緑に親しむきっかけづくりの体験講座等を行います。



きっかけづくり講座

●公開性のある緑空間の創出支援

駅前や都心部など多くの人が訪れる公開性のある民有地において、地面や屋上、壁面などに法令等で定める基準以上の緑化を行う市民・事業者に対し、その費用の一部を助成します（市街化調整区域を除く）。



公開性のある緑空間

Column コラム 2027年国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027) に向けて

この博覧会は、「幸せを創る明日の風景」をテーマにかかげ、環境と共生し、市民の皆様とともにつくる、「環共」をテーマとする日本で初めての国際博覧会です。

当協会が設立以来、地域の方々と進めてきた緑の街づくりが改めて注目されるとともに、市民の皆様の更なる活躍に高い期待が寄せられています。

当協会では、博覧会会場での市民の皆様の活躍を後押しするため、植物の知識、栽培技術、花壇の維持管理技術等を習得する研修会の開催等、様々な普及啓発事業に取り組んでいます。

そのほかにも、市民協働による機運醸成の取組として、動物園、公園等の施設において「国際園芸博覧会応援花壇」の設置・管理を進め、花と緑の魅力を発信しています。

引き続き、博覧会の主役「環共市民」の皆様とともに博覧会の成功に向け邁進してまいります。

研修会の開催



国際園芸博覧会応援花壇



市民ボランティア





公園事業

公益目的事業



10年間の管理実績

当協会は発足以来、40余年にわたって横浜市内の公園、公園プール、公園駐車場、公園売店、動物園、植物園、歴史的建造物等の管理運営を行ってきました。また、平成16年度（2004年度）の指定管理者制度の導入当初からは指定管理者として公園施設等の管理運営を行っています。公園施設等の管理運営にあたっては、公園緑地等の特性を活かした体験活動や催事、文化芸術やスポーツの振興に寄与する事業を実施し、多くの皆様にご利用いただくとともに、安全・安心・快適な公園施設等を提供するために、設備の点検・施設の清掃・巡回等を行っています。

今後も「市民の皆様に信頼され、必要とされる」ことを目標に、よりよい公園管理に努めてまいります。

年 度	平成 27 (2015)	平成 28 (2016)	平成 29 (2017)	平成 30 (2018)	令和元 (2019)	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)
和泉アカシア公園分区分園										
海の公園										
金沢八景権現山公園										
岸根公園										
清水ヶ丘公園										
富岡総合公園										
長浜公園										
根岸森林公園										
野島公園										
馬場花木園										
本牧市民公園										
本牧臨海公園										
俣野公園										
俣野別邸庭園										
三ツ沢公園										
元町公園										
山手イタリア山庭園										
山手公園										
横浜市こども植物園										
横浜市児童遊園地										
横浜山手西洋館										

管理公園

※令和6年度（2024年度）現在

根岸森林公園

日本初の本格的な洋式競馬場「根岸競馬場」の跡地に整備された「根岸森林公園」は、横浜の中心、中区の閑静なエリアの高台にあり、自然の丘陵を活かした広大な芝生広場が最大の魅力です。横浜有数の桜の名所でもあり、春は美しい桜山の光景に圧倒されます。また、梅林には約70種280本のウメがあり、早春の散策も楽しめます。

他にもラクウショウやケヤキ、イチヨウ等多様な樹木がもたらす緑豊かな樹林地や香りのバラ園、横浜市認定歴史的建造物であり、近代化産業遺産の「旧一等馬見所」等、たくさんの見どころがあります。開放感あふれる遊具広場もあり、大人から子どもまで世代を超えて楽しむことができる、横浜を代表する公園の一つです。



金沢八景権現山公園



横浜市金沢区の京浜急行線「金沢八景」駅の駅前に位置する風致公園です。東照宮とその別当寺であった円通寺の境内の跡地に整備されました。園内にある茅葺屋根の「旧円通寺客殿」は、横浜市の特定景観形成歴史的建造物に指定されており、隣接する横浜市指定天然記念物である樹叢（じゅそう）とともに、江戸時代の金沢八景の情景を今に伝えています。

公園名の由来である権現山の園内頂上からは平潟湾が望め、公園の西側にある展望広場からは園内と市街地が一望できます。それぞれ、訪れた人たちが安らげる憩いの空間となっています。さらに園内には、サクラのほか、ウメやモミジ等の花木が植えられ、歴史的建造物とともに美しい風景を観賞することができます。

三ツ沢公園

昭和24年（1949年）に公開され、国体やオリンピック東京大会の会場としても使用された歴史ある運動公園です。現在、Jリーグやラグビーリーグワン等が開催されているニッパツ三ツ沢球技場や、日本陸上競技連盟第2種公認の陸上競技場のほか、テニスコート、馬術練習場、平沼記念体育館、県立スポーツ会館等多様な運動施設があります。その他、園路には本格的なトリムコースが設置されており、様々なスポーツ・健康づくりを楽しむことができます。

また、園内には多くの桜が植えられ、市内有数の花見の名所となっているほか、豊かな水緑環境があり、自然とふれあうことができます。園内の青少年野外活動センターは、自然豊かな環境の中で青少年団体や市民が野外活動を行う場として親しまれています。



海の公園



金沢地先埋立事業の一環として整備され、昭和63年（1988年）に開園した、横浜で唯一の海水浴場をもつ公園です。海辺には、約1kmにわたる砂浜と豊かな緑が広がり、海と人とがふれあえる貴重な憩いの空間となっています。自然に見える砂浜ですが、千葉県から運んだ砂で人工的につくられたものです。現在は、カニやアサリ等多くの生き物が生息しています。春先には、潮干狩りを楽しむことができ、夏の海水浴シーズンとともに、多くの人で賑わいます。また、波が静かで遠浅の海浜は、砂遊びやボードセーリングを楽しむのに向いています。

園内には、ビーチバレー場、ウインドサーフィン艇庫等のマリンスポーツ施設があるほか、サッカー等に利用できる芝生のグラウンド「なぎさ広場」やバーベキュー場があり、さまざまな海辺のレジャーを楽しむことができます。

俣野別邸庭園

横浜市と藤沢市の市境に位置し、河岸段丘を利用した高低差のある地形が特徴の風致公園です。園内は、俣野別邸を中心とした内苑区と、開放的な芝生広場や四季折々の草花を楽しめる外苑区で構成され、晴れた日には富士山や丹沢山系が望めます。

公園名の由来となった俣野別邸は、住友家16代当主の私邸で、建築家佐藤秀三により、昭和14年（1939年）に建てられた和洋折衷住宅です。昭和初期モダニズム影響下における建築物として高い評価を受け、平成16年（2004年）に国の重要文化財に指定されましたが、その後の建物主要部分焼失により指定解除。現在の建物は横浜市が資料をもとに、保存していた部材も使用して再建したものです。主な部屋の造りや仕上げが復元されており、平成29年（2017年）4月横浜市認定歴史的建造物に指定されました。



富岡総合公園



古くは海沿いの景勝地であった場所につくられた公園です。かつて日本初の飛行艇訓練場として、日本海軍の航空基地が開設されました。園内には日本海軍航空基地があった時の遺構が残されています。戦後は米軍に接收され、長らく「富岡倉庫地区」と呼ばれていましたが、昭和46年（1971年）に返還され、昭和50年（1975年）にその一部を整備し、「富岡総合公園」として開園しました。

公園の大部分は樹林地となっており、鳥獣保護区に指定されていることから、多くの生きものが見られ、木立の中の散策や野鳥観察が楽しめます。

2か所の展望台からは金沢シーサイドラインやみなとみらいの景色が望めます。園内の桜並木、梅林、ボタン園、アジサイ坂等では、四季折々の花を見ることができます。特に鳥見塚バス停からケヤキ広場にかけての桜並木は、花見の名所として、春には多くの花見客が訪れています。

横浜市こども植物園

コムギの研究で著名な植物遺伝学者の木原均博士の研究所跡地に、昭和54年（1979年）6月23日、国際児童年を記念して開園した広さ約3.0haの植物園です。子どもたちに、植物に接し自然に親しみながら植物の知識を深め、緑を守り育てる思いやりのある心を培ってもらうとともに、市民の皆様に対する緑化の普及教育活動を行っています。園内は、バラ園、野草園、くだもの園、竹園、花木園、生垣園、薬草園、アジサイ園等が整備され、中には、ニュートンのリンゴの木、メンデルのブドウ、エジソンのマダケ、ヨコハマヒザクラをはじめ珍しい品種が数多く集められています。

また、園内28か所に植物クイズパネルが設置され、楽しみながら植物について学ぶことができます。



横浜市児童遊園地

起伏に富んだ元来の地形や樹木を活かして整備された、大木が豊かに繁った緑に包まれた公園です。大きな森の中には多目的な運動広場や花見のできる小広場、子どものための遊具広場、そして周囲の森の絞り水をためている大きな池

があり、ジョギングやウォーキング、犬の散歩や季節の花を楽しむ身近な自然観察の場として、近隣市民の健康維持やコミュニティ構築の場として親しまれています。

また、横浜市こども植物園、英連邦戦死者墓地、狩場緑風荘、保土ヶ谷プール等の施設と隣接し、「狩場の丘」としてまとまった緑を形成。都市の中にありながら昔からこの地に生息する貴重な昆虫や植物が残る、豊かな自然環境を有する市民の憩いの場となっています。



岸根公園

横浜市営地下鉄「岸根公園」駅から徒歩1分の場所にあり、アクセスがとても便利な運動公園です。市街地にありながら、多くの木々に囲まれた憩いと癒しの空間となっており、園内には、広々とした芝生広場や篠原池のほか、野球場、神奈川県立武道館等があります。

園内の「ひょうたん原っぱ」は、公園内で一番広い芝生広場で開放感いっぱいです。また「忍者とりで」は、吊り橋等の複合遊具が令和6年（2024年）12月に全面的にリニューアルされ、子どもたちに人気のスポットとなっています。



長浜公園



公園の「長浜」の名は、柴から富岡に伸びる長い浜があったところから名づけられました。

横浜横須賀道路をはさんで北側と南側の2つに分かれた公園で、北側

には2002FIFAワールドカップの公式練習場に指定された「球技場」（サッカー場）のほか、野球場、テニスコートなどの運動施設があります。中央広場には草地広場や遊具広場があり、憩いの場となっています。

南側には野鳥観察園があり、1年を通じて、さまざまな野鳥を観察することができます。野鳥観察園の中にある汽水池は、明治28年（1895年）長濱検疫所開設時につくられた船溜りの跡で、水路で海とつながっており、潮の干満によって水位が変化します。

汽水池には人工干潟や湧水を利用した淡水池、ヨシ原等があり、多くの生き物が暮らしています。

野島公園・旧伊藤博文金沢別邸

横浜市の最南部にある平潟湾の入口に浮かぶ「野島」という島にある公園です。江戸後期に活躍した浮世絵師歌川広重によって描かれた「金沢八景」の中の「野島夕照（のじまのせきしょう）」で有名な



地域です。海拔57mの野島山を中心に、展望台、バーベキュー場、キャンプ場、野球場等の施設があり、展望台からは横浜の海はもちろん、房総半島や富士山を望めます。そのほか、横浜で唯一残された自然海浜や野島貝塚等、自然や歴史を感じられるスポットがあります。

初代内閣総理大臣を務めた伊藤博文公により明治31年（1898年）に建てられた「旧伊藤博文金沢別邸（横浜市指定有形文化財）」では、庭園越しの東京湾の景色や春に咲くボタンも見どころの一つです。

俣野公園

旧ドリームランド（遊園地）からの樹木を主体とした樹林広場、芝生主体の明るく開放的な多目的広場や、遊具や健康遊具のある遊戯広場があり、近隣住民をはじめ、来園者の皆様が豊かな緑を楽しみなが



ら散歩できる公園となっています。緑豊かな園内には、外野が天然芝の本格的な硬式野球場（約3,000人の観客が収容可能）「俣野公園・横浜薬大スタジアム」があり、プロ野球チームや市内外野球チーム等の大会利用のほか、毎年、全国高等学校野球選手権神奈川大会が開催され、熱戦の舞台となっています。

馬場花木園

豊かな緑に囲まれた、和風の風致公園です。茶室があり、お茶会や俳句・和楽器の演奏等に利用されています。池を中心とした園内には、竹林があるほか、山野草やサクラ、ハス、ウメ、モミジ等四季折々の花々と風情を楽しむことができます。



元町公園



横浜の山手地区にある緑豊かな公園です。春はサクラを愛でることができ、夏は水景が涼しげな空間を演出しています。園内には、ジェラルドの水屋敷跡や山手80番館遺跡等、歴史的に貴重なものが数多くあります。また、横浜山手西洋館の「山手234番館」、「エリスマン邸」、「ベーリック・ホール」があり、見学することができます。さらに、スポーツ施設である市営プールや弓道場も併設され、多くの市民が利用しています。

山手イタリア山庭園

明治13年（1880年）から明治19年（1886年）まで、イタリア領事館がおかれたことから「イタリア山」と呼ばれています。イタリアで多く見られる庭園様式を模し、水や花壇を幾何学的に配したデザインの公園



で、「バラと輝く噴水の庭」というテーマのバラ園をはじめ四季折々の花を見ることができます。また、横浜ベイブリッジやみなとみらい21地区を一望することができ、写真や絵画のモチーフとして人々に親しまれています。フランス瓦の屋根の「ブラフ18番館」は平成5年（1993年）に、とんがり屋根の「外交官の家」は平成9年（1997年）に、移築復元されました。

山手公園

明治3年（1870年）に、横浜居留外国人の手によってつくられた、国内初の洋式公園です。

明治9年（1876年）に日本で初めてテニスがプレーされたテニス発祥の地であり、園内の「テニス発祥記念館」では、テニスの歴史を知ること



ことができます。また、ヒマラヤスギは日本で初めて山手一帯に植えられ、ここから全国に広まりました。

平成16年（2004年）3月に、国の名勝に指定、平成21年（2009年）2月には、近代化産業遺産に認定されました。花見の名所で、サクラの大木が広がり、春には桜色のトンネルを楽しむことができます。

横浜山手西洋館

外国人居留地の面影が残り、異国情緒あふれる街並みの横浜山手には7つの西洋館が一般公開され、西洋文化発祥の地として、多くの観光客が訪れます。



【外交官の家】

明治43年(1910年)にJ.M.ガーディナーの設計により、ニューヨーク総領事やトルコ特命全権大使等を務めた明治政府の外交官内田定槌氏の邸宅として東京渋谷に建てられました。
(重要文化財)



【ブラフ18番館】

大正末期に山手町45番地に建てられたオーストラリアの貿易商パウデン氏の住宅で、そのあとカトリック山手教会の司祭館として使用されていました。
(横浜市認定歴史的建造物)



【横浜市イギリス館】

昭和12年(1937年)に上海の大英工部総署の設計により、英国総領事公邸として建築されました。
(横浜市指定文化財)



【ベーリック・ホール】

昭和5年(1930年)にJ.H.モーガンの設計により、イギリス人貿易商B.R.ベリック氏の邸宅として建築されました。
(横浜市認定歴史的建造物)



【山手111番館】

大正15年(1926年)にJ.H.モーガンの設計により、アメリカ人ラフィン氏の住宅として建築されました。
(横浜市指定文化財)



【山手234番館】

昭和2年(1927年)頃に朝香吉蔵の設計により、外国人向けの共同住宅として建築されました。
(横浜市認定歴史的建造物)



【エリスマン邸】

アントニン・レーモンドの設計により、大正15年(1926年)に生糸貿易商エリスマン氏の邸宅として山手町127番地に建築されました。
(横浜市認定歴史的建造物)

● イベント紹介

横浜山手西洋館では、年間を通して歴史と文化・芸術を融合した横浜山手ならではの魅力あるイベントを、近隣の施設等と連携で開催しています。



【6月 花と器のハーモニー】

フラワーアーティストや華道家、テーブルコーディネーター等、様々な分野で活躍するアーティストが館内やテーブルを花と器で美しく装飾します。



【10月 西洋館ハロウィン】

10月中旬頃から横浜山手西洋館の館内をハロウィン装飾します。また、10月最後の日曜日には、横浜山手西洋館や山手公園、周辺施設を巡るスタンプラリー等を開催します。



【12月 世界のクリスマス】

12月1日から25日の25日間開催します。
各館でテーマ国を決め、クリスマス装飾や講座、コンサート等で、その国の歴史や文化を紹介します。
また、期間中の最後の土曜日には山手イタリア山庭園で、キャンドルの揺らぎが幻想的なキャンドルガーデンを行います。



【1月～2月 横浜山手芸術祭】

周辺の施設や地域の人々と協働し、横浜山手西洋館を文化芸術の発表の場として活用しています。
期間中は、絵画や写真などの作品展示、朗読、コンサート等、さまざまな芸術に親しむことができます。
また、山手地区の児童・生徒の美術作品を展示する「ユースギャラリー」も開催します。

前のページでご紹介した公園施設では、地域の皆様やNPO法人、民間企業等とともに、それぞれの公園の特徴を活かした事業を行っています。ここでは、その一部をご紹介します。

■地域の皆様との連携

- 三ツ沢公園と岸根公園、根岸森林公園では、地域の企業や団体、店舗と共同で「地産地消マルシェ」を実施しています。地場産農作物や地元商店のパン、自然食品等を販売しています。
- 俣野別邸庭園では、令和6年度（2024年度）に新たな試みとして、館とその周りの緑を楽しんでいただく昼食会を開催しました。料理は泉区弥生台のレストランの協力の下、地元食材を使ったフレンチフルコースを提供しました。
- 俣野公園では、災害時等、いざという時の地域交流の重要性を考慮し、近隣の自治会、教育関係者、NPO法人、諸団体等の9団体と共催して「俣野公園のつどい」を実施しています。同様の事業として、野島公園では「防災デイキャンプ」「てんでんこ競走」を行っています。こちらは避難時に役立つアウトドア体験や津波発生時に自身での避難方法を伝えています。



■NPOや団体などとの連携

- 富岡総合公園や根岸森林公園では、毎年6月から10月の間、豊かな自然や水場を求めて飛来するトンボの調査を、子どもたちも交えて行っています。
- 金沢八景権現山公園では、公園のある金沢区のご当地かるた「カナかる！」の公式大会が開催されました。当日は幼稚園の部と一般の部に分かれ、それぞれチャンピオンを競いました。



■民間企業との連携

- 馬場花木園では平成26年（2014年）に株式会社伊藤園と連携し、茶室でお茶の美味しい淹れ方や健康性に関するセミナーを実施しました。
- 横浜山手西洋館等では、季節の風物詩として定着している「花と器のハーモニー」「西洋館ハロウィン」「世界のクリスマス」「横浜山手芸術祭」をはじめ、様々な事業で多様な皆様と共催をしています。その中の「YOKOHAMA STAR☆NIGHT」では、横浜DeNAベイスターズと共催し、夏の時期に館のスタッフがベイスターズのユニフォームを着用して地元チームを応援しています。
- 海の公園では、神奈川トヨタ自動車販売株式会社と共催し、「GOOD OPEN AIRS 2024 ～アウトドアフェア in海の公園～」を開催しました。アウトドアを楽しむための体験イベントやグッズの展示、販売をはじめ、自動車の展示や地元のNPO法人、地元企業、地元大学と連携したワークショップ等を通じ、海の公園の新たな魅力づくりを創出しました。



このように、公園施設では様々な方たちと様々な事業で様々な連携を行いました。それによって、新たにご縁がつながり、これから来園者の皆様に驚きや発見等、イマジネーションを刺激する体験を伝えられる事業をともに実施していきます。



動物園事業

公益目的事業





●年表

	平成27年度（2015年度）	平成28年度（2016年度）
よこはま動物園	4/22 「アフリカのサバンナ」完成に伴い全面開園 6/4 ベルリン動物園（ドイツ）からクロサイ1頭来園 6/25 ミナミアフリカオットセイ1頭繁殖 7/21 シンガポール動物園からウンピョウ2頭来園   開園日数：324日／入園者数：1,216,132人	5/11 テングザル1頭繁殖 7/23～8/15 チームラボ お絵かきアニマルズinズーラシア開催 10/10 累計入園者数2,000万人達成 10/21 台北市立動物園と動物園連携協力に関する覚書（パートナー動物園）を締結   開園日数：321日／入園者数：1,086,486人
野毛山動物園	4/1 園内種名看板、掲示物リニューアル 4/26 ひだまり広場に屋内休憩所オープン 5/3 なかよし広場に入れ替え制導入 2/28 ヘサキリクガメ国内初繁殖   開園日数：323日／入園者数：1,095,448人	4/2 開園65周年記念式典 5/23 フタコブラクダ「ツガル」プロンズ像完成 9/4 チンパンジー 1頭繁殖 9/24 ぶらり野毛山動物園BUS運行開始記念セレモニー    開園日数：322日／入園者数：844,401人
金沢動物園	4/29 国内最後のダーウィンレア死亡 6/17 キリン1頭繁殖 8/24 ウォンバット「ヒロキ」死亡 9/7 キリン1頭繁殖  開園日数：323日／入園者数：287,099人	4/22 オセアニア区リニューアルオープン 9/20 インドゾウ「チャメリー」を繁殖のためよこはま動物園から金沢動物園へ移動 10/1～11/30 コアラ来園30周年記念イベント開催   開園日数：322日／入園者数：305,858人
3園共通	4/22 よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート販売開始 10/22～11/19 JICAウガンダ野生生物保全事業 研修生受入れ 11/7 横浜市緑の協会設立30周年記念国際シンポジウム「深化する公園と動物園」開催 1/28～2/12 JICAウガンダ野生生物保全事業 専門家派遣	10/17～11/14 JICAウガンダ野生生物保全事業 研修生受入れ 11/5 横浜市緑の協会シンポジウム「飛躍する公園と動物園」開催 1/31～2/17 JICAウガンダ野生生物保全事業 専門家派遣

平成29年度（2017年度）	平成30年度（2018年度）	令和元年度（2019年度）
5/18 チンパンジー 1頭繁殖 5/27 動物園で映画を見よう ～ Park Theater ～実施 5/31 シンガポール動物園からインドライオン1頭来園 12/22 ユーラシアカワウソ1頭繁殖  開園日数：325日／入園者数：1,149,654人	1/15 テングザル1頭繁殖 2/22 ゴールデンターキン1頭繁殖 3/21 ボルネオオランウータン展示場リ ニューアルオープン 3/21～ 子ども服ブランド（サマンサモス モスラーゴム）との開園20周年コ ラボTシャツ発売  開園日数：321日／入園者数：1,077,317人	4/21 開園20周年を祝う記念式典を開催 7/1 キリン1頭繁殖 8/19 スマトラトラ1頭繁殖 12/21 ゴールデンターキン1頭繁殖  開園日数：290日／入園者数：982,820人
4/5 ～ 5/9 オリジナルこいのぼり 「のげのぼり」お披露目  7/26 横浜にぎわい座連携イベント「動 物園で楽しむ動物ものまね」実施 開園日数：322日／入園者数：721,131人	7/3 オグロワラビー 1頭繁殖 8/4 オリジナルマスコット愛称 「かぐやま君」に決定  開園日数：322日／入園者数：638,518人	4/14、5/27 クロツラヘラサギ2羽繁殖 4/17 ～ 7/14 ハウシャガメ6頭繁殖 2/3 ヘサキリクガメ1頭繁殖  開園日数：291日／入園者数：548,927人
7/28 ののはなカフェ、ののはなギフト ショップリニューアルオープン 9/11 国内最後のプロングホーン「ブッ チ」死亡  開園日数：322日／入園者数：321,990人	5/22 よこはま動物園からオカピ「トト」 移動 8/4 わくわく広場に「わくわくキッ チン」オープン  3/18 インドゾウ「チャメリー」、豊橋総 合動植物公園へ出園 開園日数：322日／入園者数：299,098人	4/27 アラビアオリックス1頭繁殖  5/11 オオツノヒツジ1頭繁殖 6/22 ～ 7/10 ヘイケボタル発光展示を実施 開園日数：288日／入園者数：246,982人
2/16、2/24 JICAウガンダ野生生物保全事業の 課題や成果についての「大人のため の動物園カフェ」「講演会」を実施	10/24 3動物園の監修による動物の特徴と 描き方を紹介する絵本「おえかき ずかん」をコクヨ株式会社より発 売 2/17 第7回アフリカ開発会議横浜開催の 連携事業として、シンポジウム「ア フリカ地域における野生生物の保 全と人との共存」を開催	1/中～ 2/28 オーストラリア森林火災に伴い、 野生動物保護活動支援を目的とし た募金箱を設置（962,320円） 2/29 ～ 新型コロナウイルス感染症拡大防 止のため臨時休園



	令和2年度（2020年度）	令和3年度（2021年度）	
よこはま動物園	12/16 フランクフルト動物園（ドイツ）からセスジキノボリカンガルー「ジャヤ・メイ」来園 1/13 ボウシテナガザル1頭繁殖 3/18 国内初となる人工授精によるツシヤママネコ1頭繁殖  開園日数：254日／入園者数：754,247人	5/13 アカアシドゥクラングール1頭繁殖 9/24、10/3 キリン2頭繁殖 1/12 マレーバク1頭繁殖 2/2 国内最後のモウコノロバ「ミンミン」死亡  開園日数：319日／入園者数：1,032,780人	
野毛山動物園	11/24 スマトラトラ雌1頭（公社）日本動物園水族館協会の繁殖計画により上野動物園へ出園  3/15 環境省生息域外保全事業に参画し、ミヤコカナヘビ10頭が上野動物園より来園 開園日数：247日／入園者数：390,886人	4/1～6/29 開園70周年を記念しオリジナルエコバッグを制作・販売するクラウドファンディングを実施 5/26、6/17、6/19、9/13、12/19 ヘサキリクガメ5頭繁殖 11/2 クラウドファンディングの収益等を活用しレッサーパンダ展示場をリニューアル   開園日数：319日／入園者数：500,925人	
金沢動物園	6/25 伊豆シャボテン動物公園からパルマワラビー 2頭来園 7/22～12/27 「カピバラさん」15周年タイアップ企画実施 8/10 国内最後のシロイワヤギ「ペンケ」死亡 10/28 インドゾウに対するQOL向上の取組みがエンリッチメント大賞2020敢闘賞を受賞   開園日数：253日／入園者数：263,224人	5/3 累計入園者数1,500万人達成 5/31 オオツノヒツジ1頭繁殖 7/7 環境省トゲネズミ類生息域外保全事業に参画し、埼玉県こども動物自然公園からアマミトゲネズミ6頭来園 1/17～3/11 開園40周年を記念し、インドゾウ展示場に自動給水装置の設置を行うクラウドファンディングを実施  開園日数：319日／入園者数：322,346人	
3園共通	2/29～6/10 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休園 6/11～よこはま動物園入場制限を実施 6月土日 野毛山動物園臨時休園 8月土日祝 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「よこはま夜の動物園」中止 9月 東京新聞掲載の「よこはま夜の動物園2019」新聞広告が第11回中日新聞社広告大賞「読者が選ぶ東京新聞広告賞 部門賞（小型広告部）」を受賞	8月土日祝 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「よこはま夜の動物園」全10回中9回中止	

令和4年度（2022年度）	令和5年度（2023年度）	令和6年度（2024年度）
5/27 ツシマヤマネコの人工授精について「古賀賞」を受賞 7/1 レッサーパンダ2頭繁殖 10/8 よこはま動物園限定の「オカピ」のぬいぐるみ2種類を販売開始 10/21 タンガニーカ・ワイルド・パーク（アメリカ）からウンピョウ1頭来園 1/11 多摩動物公園からモウコノウマ来園   開園日数：319日／入園者数：1,027,968人	4/29～6/30 ミナミアフリカオットセイ展示場に日よけの設置等を行うためのクラウドファンディング実施 5/3 ウーリーモンキー 1頭繁殖 9/9 協賛企業であるウエイズグループの支援を受け、無料招待デーを実施 3/23 シンガポール動物園からインドライオン2頭来園  開園日数：321日／入園者数：1,007,874人	7/30 10年ぶりにオカピ繁殖 8/11 ユーラシアカワウソ繁殖  10/22 ユーラシアカワウソ繁殖 11/18 ホッキョクグマ繁殖 
7/20 なかよし広場小動物ふれあい新プログラム開始 10/15 野毛山動物園セミナー 2022 カグー今昔物語～横浜市における保全の取組～を開催 10/31 グレビーシマウマ1頭繁殖  11/25 チンパンジー 1頭繁殖 11/30 ヨザル「ブラッド」死亡 開園日数：321日／入園者数：517,802人	4/3 ヘサキリクガメ1頭繁殖 6/6 ミナミコアリクイ1頭繁殖 1/23 チンパンジー「ピーコ」死亡  開園日数：323日／入園者数：486,309人	6/30 インドライオン「ラジャー」死亡  11/2 神戸どうぶつ王国からオーストラリアガマグチヨタカ2羽来園  12/5 野毛山動物園応援カプセルトイ（寄付）開始
4/28 スーチョワンバーラル1頭繁殖 6/17 インドサイ「キンタロウ」死亡  2/28 環境省から「認定希少種保全動物園」の認定を受ける 開園日数：321日／入園者数：288,689人	5/16 ミゾゴイ試験放鳥事業初実施のため、共同実施する横浜市繁殖センターから1羽来園 5/30、6/30 オオツノヒツジ2頭繁殖 2/22 いしかわ動物園と富山市ファミリーパークからニホンライチョウ来園  開園日数：323日／入園者数：259,242人	8/3 ニホンライチョウ死亡 11/16 コアラの赤ちゃん 出袋 11/22 埼玉県こども動物自然公園からプーズー 3頭来園  
3/31～5/8、11/23～1/9 ウクライナの動物園を支援するための募金箱を設置（966,276円）（200,084円）	9/27 関東学院大学と「動物園の課題解決に向けた調査研究及び教育連携」に関する協定を締結 1/24～2/29 「のとうま臨海公園水族館」を支援するための募金箱を設置（642,722円）	5/17 無印良品を展開する株式会社良品計画と連携し、3園の飼育動物をモチーフにした大判ハンカチを制作・販売



動物園事業（4つの役割）

豊かな地球を未来へ引き継ぐために動物園から社会を変えていく！



都市化が進むにつれ、私たちの生活の中で野生動物に思いをはせる機会が少なくなっています。今や、多くの人々にとって、動物園が唯一の野生動物に出会える場所となっているのかもしれませんが。野生動物たちとともにくらす豊かな地球環境を思い描き、そして持続可能な社会をつくってゆくためには、動物園が生物多様性や地球環境保全の場であることを深く認識して、その役割と責任を果たすことが重要です。

未来の世代に、より豊かな地球環境を残していけるように、横浜の3つの動物園（よこはま動物園・野毛山動物園・金沢動物園）は、皆様と一緒に野生動物とその生息環境のことを知り、考え、学び、そして行動することで、自然と共生できる社会をつくってゆきたいと思っています。

① 出会いを感じる

動物に魅せられ、共に生きることの大切さを感じられる公園としての役割

自然界で出会えることの少ない野生動物たちを、身近に楽しく観察して感動と喜びと安らぎを得られるのが動物園です。人々が野生動物の生命のすばらしさに魅せられ、かれらと折り合いをつけながらともに生きる大切さを体感し、自然共生社会の実現に必要な人間の生き方を再創造できる公園としての役割を果たします。



【よこはま動物園の取組】

よこはま動物園は「生命の共生・自然との調和」をメインテーマに「生息環境展示」を取り入れた国内最大級の動物園で、オカピやアカアシドゥクラングルなどの希少動物に出会うことができます。また、「アフリカのサバンナ」ゾーンのバードショーでは、動物の美しさや魅力的な動き、生態や習性を楽しみながら学べる機会を提供し、「ばかばか広場」では、ひき馬体験や小動物とのふれあい体験を提供しています。



【野毛山動物園の取組】

野毛山動物園のコンセプトは、「誰もが気軽に訪れ、楽しめる動物園であり、小さな子どもがはじめて動物に出会い、ふれあい、命を感じる動物園」です。

園内の「なかよし広場」は、小動物とのふれあい体験を通じて、「命のぬくもり」を実感できる場となっています。令和4年度（2022年度）からは、参加者は飼育員からのレクチャーを受けたうえでふれあいを行うこととし、より動物福祉に配慮した新しいプログラムを提供しています。



【金沢動物園の取組】

コアラ、アラビアオリックスなど、世界の希少草食動物に出会うことができるほか、「ほのぼの広場」では、ヒツジ・ヤギ・ポニーといった都会ではなかなか出会えない家畜に親しむことができます。また、身近ないきもの館では、来園者の身近に生息している両生類、爬虫類、昆虫類を展示し、身の回りの環境にも目を向けられるような出会いを提供しています。



②理解し学ぶ

動物に対する科学的な知識を深め、 その情報を市民と共有する役割

約300年の近代動物園の歴史の中で、野生動物の飼育技術や健康管理に関する試行錯誤が世界中で繰り返されてきました。しかしながら、野生動物の生理や生態や行動については、まだまだ分からないことばかりです。研究者と協力して調査研究を続け、そこで得られた知識を市民と共有しながら、多様な野生動物の保全に貢献する役割を担います。



【よこはま動物園の取組】

動物園では、飼育動物の生態や習性、繁殖や保護活動について調査研究を行い、その成果を理解し学ぶ機会を提供しています。令和6年度（2024年度）からは、調査研究をまとめた研究会報をホームページで公開し、多くの方にご覧いただけるようにしました。さらに、令和2年度（2020年度）に実施したツシマヤマネコの人工授精による繁殖に日本で初めて成功した知見は、令和4年度（2022年度）に学術誌「Animals」に掲載されました。



【野毛山動物園の取組】

繁殖生理学、遺伝学、動物行動学、獣医学等、様々な分野におけるテーマについて調査研究を行っています。横浜市繁殖センターとのモルモットにおけるストレス評価研究や、大学との飼育下霊長類における他者認知・自己認知に関する調査等を行い、それらの成果を日々の飼育展示技術の向上に役立てています。



【金沢動物園の取組】

横浜市繁殖センターと連携し、ミゾゴイの放鳥技術の確立を目指した調査研究を行っています。また、大学と共同で金沢動物園・金沢自然公園内の生物調査等を実施しています。生物調査の結果をもとに、自然公園の管理計画を立案・実施し、多様ないきもののすみかとしての森づくりをすすめています。





③ 知り伝える

動物や生息環境のことを多くの人々へ伝え、 行動につなげる役割

野生動物と人との間には、過去からいろいろなつながりがあります。恐れの対象、祈りの対象、狩猟の対象、保全の対象としてのつながり等です。動物園で出会った動物や、かれらの生息環境の現状を知ることは、自分自身とのつながりを知る機会にもなるでしょう。そこから地球環境を守ることの大切さを伝えつなげる役割を分かち合います。



動物園で出会った動物や、その生息環境を知ることは、自分自身と目の前にいる野生動物がどのようにつながっているかを知る機会になります。横浜の3つの動物園では、その機会を作るため、毎年野生動物セミナーを開催しています。

令和4年度（2022年度）の開催においては、よこはま動物園では「世界ライオンの日」にちなんで、ケニアでのライオン保全活動、野毛山動物園ではニューカレドニアの絶滅危惧種カグーに関する動物園での取組、金沢動物園では横浜に生息するカエル類の保全活動について、それぞれ外部講師の方々に講演いただき、野生動物を守るために自分自身に何ができるかを一緒に考えていく機会となりました。

また、日々開催している飼育員の動物ガイドでは、生きている動物を前にその特徴や生体の不思議等を分かりやすく伝え、野生動物に思いをはせるきっかけづくりを行っています。

今後も動物園で考えたことを「知り伝える」ことで、地球環境を守ることの大切さを伝えつなげる役割を分かち合います。



【よこはま動物園の取組】

希少動物の飼育と生息環境を活かした展示を通じ、動物と自然環境への理解を深める取組を行っています。「飼育員のとおきタイム」や「ガイドツアー」では動物の生態を学び、自然との共生の大切さについて理解を深めていただけるよう工夫しています。また、団体向け来園プログラムや市内の学校向けに出張授業を実施しており、多くの児童に参加いただきました。さらに、オンライン教育も導入し、遠隔地からでも教育プログラムに参加できる環境を提供しました。「ズーラシアフェス」「国際ホッキョクグマの日」等では、保護活動に焦点を当てた講演や特別展示、募金活動を実施し、来園者の行動変容につながる取組を行いました。



【野毛山動物園の取組】

飼育員による担当動物の生態や生息環境について伝えるガイド「お食事タイム」を毎日実施しています。そのほか、レッサーパンダやキリンについては、生息域内の状況を伝えるガイドとともに募金活動を行い、現地保全団体への寄付を行いました。また、外部講師と飼育員により動物や環境をテーマにした講演を行う「野毛山動物園セミナー」や、毎年3月に「動物たちのSOS展」を実施しています。「動物たちのSOS展」では、絶滅危惧種や環境改善、私たちが地球のためにできることをテーマに、外部団体とブース展示やクイズラリーなどを協働で実施しています。これらの取組は、環境について理解を深めていただく機会として来園者から好評を得ています。



【金沢動物園の取組】

飼育員によるガイド「わくわくタイム」や春、秋に実施している「Zoo to Wild Fes」などのイベントを通じて動物の生態や野生での現状を伝えています。イベントでは野生動物の保全活動に取り組む団体と協力し、様々な切り口から生態系の大切さや環境保全につながる行動について伝えています。また、金沢自然公園内の外来生物の調査を「わくわくタイム」に取り入れ、来園者を巻き込んだ生物調査を実施し、身近な生態系との関わりについて理解を促進しています。





④ 守り続ける

世界と手を取り合って野生動物を 計画的に守ってゆく役割

人間活動の拡大により、生物多様性は急速に失われています。絶滅の危機にある野生動物を守るには、国内外の動物園が連携し、動物福祉も考慮しながら長期的計画を立て、飼育下個体群を維持する必要があります。さらに、本来の生息環境保全にも関わってゆかなければいけません。足もとの自然を見つめながら地球環境を守るための役割を務めます。



横浜の3つの動物園ではオカピやレッサーパンダ、コアラ等多くの希少な動物を飼育しています。その一部の動物種は、国際種管理計画（GSMP）という国際的な繁殖計画があり、その計画に基づき動物の繁殖に取り組んでいます。また、環境省と公益社団法人日本動物園水族館協会（JAZA）が締結した「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」に基づく生息域外保全事業に参画し、今後も命をつなぐことでその種を「守り続ける」役割を担い、遺伝的多様性の維持に寄与していきます。



【よこはま動物園の取組】

平成18年（2006年）よりツシマヤマネコ保護増殖事業計画に基づくツシマヤマネコの飼育下繁殖に携わっており、令和3年（2021年）3月18日に、腹腔鏡を用いた人工授精により1頭のメスが誕生しました。人工授精によるツシマヤマネコの繁殖成功は国内初の事例となりました。この実績は令和4年（2022年）に希少動物の繁殖にとくに功績のあった動物園や水族館に対して贈られる国内最高賞である「古賀賞」を受賞しました。

また、平成11年（1999年）の開園以来、飼育、繁殖に取り組んでいるオカピについては、令和6年（2024年）7月30日に10年ぶりの繁殖に成功しました。



【野毛山動物園の取組】

野毛山動物園では、沖縄県宮古島市に生息する固有種であり絶滅危惧種でもあるミヤコカナヘビの生息域外保全活動に参画しています。令和6年度（2024年度）から飼育展示を開始し、生息域外保全に取り組むとともに、環境保全についての普及啓発を積極的に行っています。また、令和4年度（2022年度）にはチンパンジーやミナミコアリクイ、グレビーシマウマ等の希少動物の繁殖に成功しました。



【金沢動物園の取組】

トゲネズミ類生息域外保全事業、ニホンライチョウ保護増殖事業へ参画し、繁殖技術の確立に取り組んでいます。また、横浜市ミヤコタナゴ保護育成検討会への参加や、ミゾゴイ、ミナミメダカ、ミヤマクワガタ、トウキョウサンショウウオ、アカハライモリ等、横浜の身近な生きものの保全に取り組んでいます。令和4年度（2022年度）には、環境省により、認定希少種保全動物園に認定されました。



Column コラム クラウドファンディングについて

3動物園ではクラウドファンディングを実施し、たくさんの皆様にご支援いただきました。



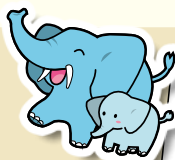
野毛山動物園

開園70周年プロジェクトとしてクラウドファンディングを立ち上げ、目標の1,000,000円を大きく上回る5,707,500円のご支援をいただきました。こちらの支援金の一部でレッサーパンダの展示場改修を行うことができました。



金沢動物園

開園40周年プロジェクトとしてインドソウの展示場に自動給水装置を設置するためにクラウドファンディングにチャレンジした金沢動物園。目標金額5,000,000円を大きく上回る9,441,800円をご支援いただき、無事設置することができました。



よこはま動物園

動物福祉（アニマルウェルフェア）向上のためにクラウドファンディングに挑戦し、25,136,400円のご支援をいただき目標を達成できました。支援金でミナミアフリカオットセイの展示場に日よけや休息場所等を新たに設置することができました。



經營事業

収益事業



飲食

【横浜山手西洋館（山手111番館、エリスマン邸、外交官の家）】

横浜山手西洋館の3つの館（山手111番館・エリスマン邸・外交官の家）では、それぞれカフェを併設しています。



山手111番館（カフェ・ザ・ローズ）



エリスマン邸（café Ehrismann）



外交官の家（ブラフガーデンカフェ）

【よこはま動物園】

園内に3か所（オージーヒルグリルレストラン、ジャングルカフェ「フレッシュネスバーガー」、サバンナテラス）、園外に1か所（アクアテラスカフェ「サーティワンアイスクリーム」）の飲食施設を運営しています。レストランやカフェでは、それぞれに特徴のあるメニューを取り揃えて皆様をお待ちしています。



オージーヒル
グリルレストラン



サバンナテラス



【金沢動物園】

「のののはなカフェ」では地産地消メニューを、「わくわくキッチン」ではソフトクリームや軽食を販売しています。



【野毛山動物園】

ひだまり広場休憩所にある「ひだまりカフェ」にて、軽食やスイーツ等を販売しています。



【俣野別邸庭園】

「ひだまりガーデン」では静かな空気に包まれながら、ドリンクやケーキ類をお楽しみいただけます。



施設	飲食店名称
よこはま動物園	オージーヒルグリルレストラン ジャングルカフェ「フレッシュネスバーガー」 アクアテラスカフェ「サーティワンアイスクリーム」 サバンナテラス
野毛山動物園	屋内休憩所「ひだまりカフェ」
金沢動物園	のののはなカフェ、わくわくキッチン
港の見える丘公園	喫茶室「カフェ・ザ・ローズ」（山手111番館内）
元町公園	喫茶室「café Ehrismann」（エリスマン邸内）
山手イタリア山庭園	喫茶室「ブラフガーデンカフェ」（外交官の家の内）
根岸森林公園	喫茶室「森のテラスカフェ」
俣野別邸庭園	喫茶室「ひだまりガーデン」
三ツ沢公園	レストラン「leaf café」
グランモール公園	椿屋カフェ

物販

【横浜山手西洋館】

各館では、こだわりのオリジナルグッズを販売しています。

バラの花びらが入ったキャンディーや、横浜山手西洋館のイラストの刺繍を施したハンドタオル等、ご来館の記念になる商品を多数取り揃えています。



【よこはま動物園】

動物園正門の「アクアテラスギフトショップ」と園内「オージーヒルギフトショップ」では、よこはま動物園の動物達のぬいぐるみ、お菓子等のお土産やオリジナルグッズを多数販売しています。



アクアテラス
ギフトショップ



オージーヒルギフトショップ

【野毛山動物園】

入園口横にある「なかよしショップ」では、文房具やぬいぐるみ等のオリジナルグッズを販売をしています。



【金沢動物園】

ののほなギフトショップでは、ぬいぐるみや雑貨、お菓子等多数の商品を取り揃えております。



施設	売店名称
よこはま動物園	アクアテラスギフトショップ オージーヒルギフトショップ 北門ショップ（繁忙期のみ）
野毛山動物園	なかよしショップ
金沢動物園	ののほなギフトショップ
海の公園	ふれあい売店 南口売店 柴口売店 磯浜売店
こども自然公園	売店

駐車場

● 主な駐車場

【山下公園駐車場】

山下公園に付帯する駐車場です。大型バスが停められるほか、電気自動車、プラグインハイブリッド車の充電ができます。



【よこはま動物園・金沢自然公園】

よこはま動物園は正門・北門駐車場合わせて約2,200台、金沢自然公園では正面口・高速側駐車場合わせて1,200台収容できます。また、金沢自然公園高速側駐車場は、横浜横須賀道路に直結しています。



【管理駐車場一覧】

公園駐車場

施 設	所 在 地
海の公園	金沢区海の公園 10
柴口駐車場	
磯浜駐車場	
臨時駐車場	
岸根公園駐車場	港北区岸根町 725
北八朔公園駐車場	緑区北八朔町 2071
久良岐公園駐車場	港南区上大岡東 3-12-1
小柴自然公園駐車場	金沢区長浜 116-2
こども自然公園	旭区大池町 65-1 (第2駐車場は 泉区緑園 7-23)
第1駐車場	
第2駐車場	
第3駐車場	
臨時駐車場	
陣ヶ下溪谷公園駐車場	保土ヶ谷区川島町 1514
都筑中央公園駐車場	都筑区茅ヶ崎中央 57-11
富岡総合公園駐車場	金沢区富岡東 2-9
長浜公園駐車場	金沢区長浜 106-6
根岸森林公園	中区根岸台
第1駐車場	
第2駐車場	
野島公園	金沢区野島町 24
第1駐車場	
第2駐車場	
室ノ木地区臨時駐車場	金沢区六浦東 1
本郷ふじやま公園駐車場	栄区中野町 56
舞岡公園駐車場	港南区上永谷町 4374-1

施 設	所 在 地
俣野公園	戸塚区俣野町 1367-1
公園駐車場	
臨時駐車場	
俣野別邸庭園駐車場	戸塚区東俣野町 80-1
三ツ沢公園	神奈川区三ツ沢西町 3-1
第1駐車場	
第2駐車場	
第3駐車場	
臨時駐車場	
港の見える丘公園駐車場	中区山手町 254-10
山下公園駐車場	中区山下町 279
山手公園駐車場	中区山手町 230
横浜市児童遊園地駐車場	保土ヶ谷区狩場町 214-23

動物園駐車場

施 設	所 在 地
金沢自然公園	金沢区釜利谷東 5-15-1
正面口駐車場	
高速側駐車場	
よこはま動物園	旭区上白根町 1175-1
正門駐車場	
北門駐車場	

その他駐車場

施 設	所 在 地
ポートサイド駐車場	中区山下町 8

バーベキュー場・キャンプ場

【海の公園】

海、砂、緑の木々に囲まれた自然豊かな環境の中で、バーベキューを楽しめます。



【野島公園】

野島青少年研修センターに隣接しており、海を見ながら野外活動を楽しむことができます。キャンプ場も併設しています。



【こども自然公園】

春には桜の下で、夏には深い緑の下でバーベキューを楽しめます。



【金沢自然公園】

植物区内にあり、春には桜並木の下でバーベキューを楽しむことができます。



その他 (自動販売機・クロス・パティオ・園内バス・レンタル)

・自動販売機

公園や動物園では、飲料やアイスクリーム等各種自動販売機の設置・管理をしています。

・クロス・パティオ

様々なイベントにご利用いただける貸ギャラリー「グリーンスポット」を運営しています。



・レンタル

各動物園では車いすは無料、ベビーカーは有料でレンタルしています。またコインロッカーも設置しています。



・園内バス

よこはま動物園では園内を快適に移動していただけるよう、園内バスを運行しています。



横浜市緑の協会設立40周年記念事業

■ シンポジウム ～これからの横浜の緑の展開、世界への発信～

日時：令和6年（2024年）11月2日（土）13時00分～16時15分

会場：横浜情報文化センター 情文ホール

これからの横浜の緑の展開、世界への発信をテーマに、各方面で活躍されている専門家の方々にご登壇いただき、当協会が横浜市と連携して市民・企業・団体等の方々と進めてきた様々な取組を軸に、未来への更なる発展に向けた意見交換が行われました。当日は、緑の街づくりに取り組む市民団体をはじめ、協力企業・団体の方々等148名にご列席いただきました。

【基調講演】

●テーマ

GREEN×EXPO 2027がもたらす新しい価値

ー NbSの思想を基本とした自然共生社会への道筋ー

涌井 史郎 様

東京都市大学特別教授

GREEN×EXPOラボチェアパーソン



【パネルディスカッション】

●テーマ

横浜市の緑の未来

●モデレーター

東京都市大学特別教授

GREEN×EXPOラボチェアパーソン：涌井 史郎 様

●パネリスト

横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局 担当理事：五十嵐 康之 様

特定非営利活動法人NPObirth 事務局長：佐藤 留美 様

よこはま緑の推進団体桜台花グループ 代表：一ノ瀬 きみ代 様

公益財団法人 横浜市緑の協会 理事長：橋本 健



五十嵐 康之 様



佐藤 留美 様



一ノ瀬 きみ代 様



橋本理事長

【来賓】

横浜市 副市長：平原 敏英 様

横浜市みどり環境局 局長：鈴木 貴晶 様

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会 事務次長：小池 政則 様



平原副市長 祝辞

このシンポジウムでは、ご列席いただいた関係機関・各種団体・企業等の多くの皆様に、貴重なご意見や励ましのお言葉をいただきました。これまで支えていただいたすべての皆様に感謝するとともに、引き続き皆様と協力連携しながら、自然豊かな街づくりに貢献してまいります。



シンポジウムの様子は当協会
ホームページからご覧いただけます。
<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/>
※令和8年（2026年）3月末まで予定



■ 横浜公園花壇植え付けボランティア活動

日時：令和6年（2024年）11月9日（土）13時00分～15時00分

場所：横浜公園

職員がボランティア活動としてチューリップ球根（2,900球）の植え付けを行いました。職員が自ら緑化推進活動に参加することにより、緑化意識を高め、GREEN×EXPO 2027への機運醸成も図ることができました。



■ ホームページへの特設ページ設置

設置期間：令和6年（2024年）10月1日～

令和7年（2025年）3月31日



私たちは都市緑化の推進を図るとともに、公園緑地及び動物園の円滑な運営、健全な利用の増進及び生物多様性保全等、公共の福祉の増進に寄与するため、13ページで紹介したよこはま緑の街づくり基金の他、多くの個人、団体、企業の方々からの寄付も活用しながら事業を行ってきました。

よこはま動物園



ウンピョウ展示場の老朽化した止まり木を
更新し、キャットウォークを設置

野毛山動物園



チンパンジーの健康管理のために採血口を
設置

金沢動物園



カピバラ展示場の老朽化したプールを更新

横浜山手西洋館

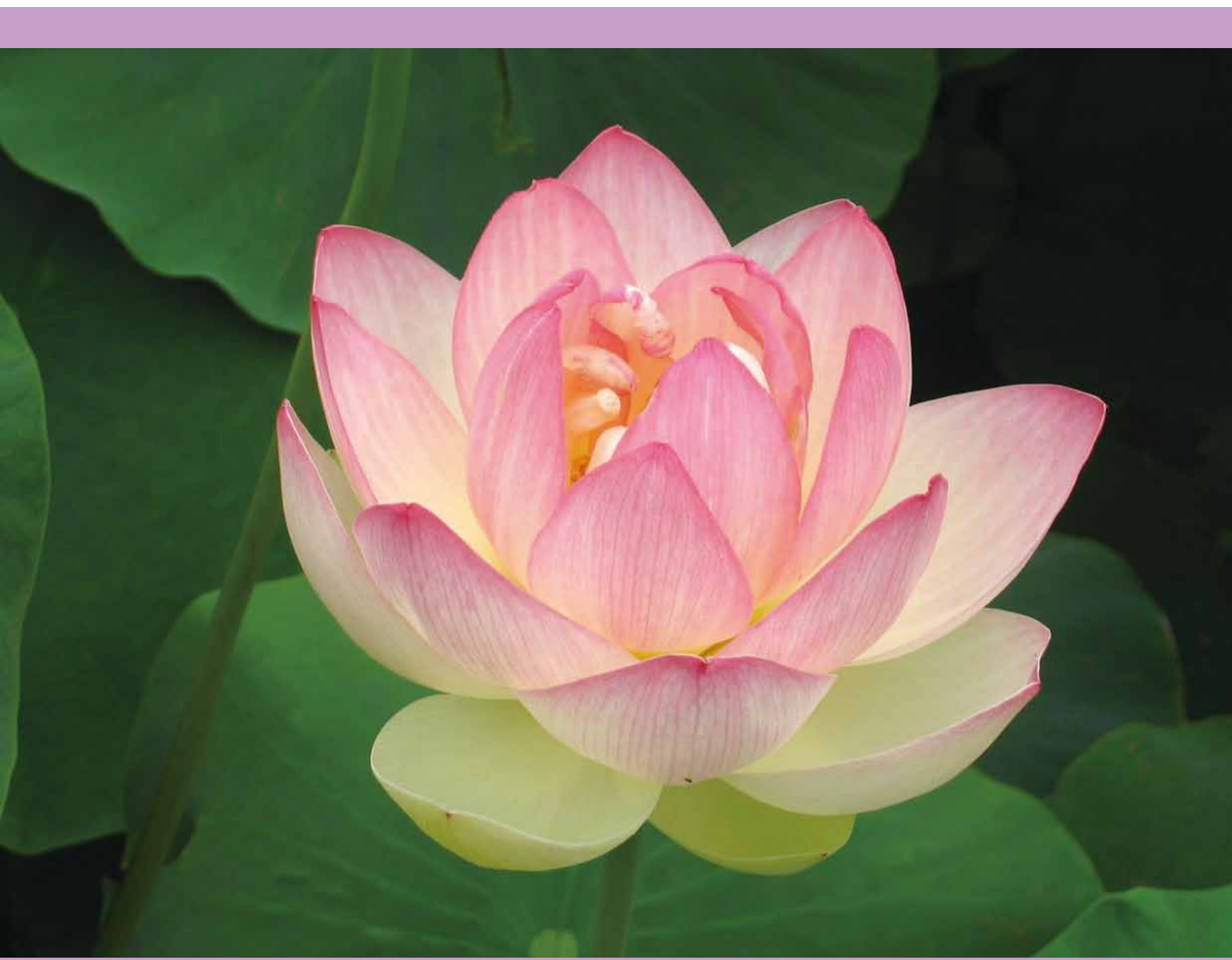


家具やカーテンなど調度品の修繕や更新を
実施

今後も、「ネイチャーポジティブ（自然再興）」や「ネイチャーベースドソリューション（自然を基盤とした解決策）」に対する人々の関心が高まり、社会全体の大きな潮流の変化がある中、当協会の果たすべき役割は今後ますます大きくなると考えているため、引き続き多くの皆様からのご寄付が得られるよう尽力していきます。



資料編



歴代 横浜市緑の協会 役員

	氏 名	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)	令和 6 年度 (2024 年度)
理 事 長	吉田 哲夫	H23.5.1	6.30								
	上原 啓史			7.1	6.30						
	福山 一男					7.1	6.30				
	橋本 健								7.1		
常務理事	山崎 隆弘	4.15			3.31						
	田口 政一					4.1					
理 事	坂田 宏	H21.4.1									
	海沼 正雄	H24.4.1	6.22								
	東穂 嘉洋		6.22	6.26							
	波多野 優				6.27						
	田澤 重幸	H24.4.1 6.5									
	矢部 均	6.24						6.23			
	藤巻 慎司								6.24		
	池西 正行	H25.6.22	6.30								
	溝呂木啓之			7.5	8.31						
	加藤 規					9.1	6.22				
	鈴木 哲也							6.23			
	松澤 孝郎	H24.4.1	6.22								
	小山 和雄		6.22	6.26							
	磯崎 保和				6.26	7.22					
	藤田 誠治					7.23	8.16				
	網代宗四郎							8.17	6.24		
	石川 健治								6.24	6.26	
	細田 利明										6.26
	大隅 均	4.15			3.12						
	鷺尾 和行					3.13					
監 事	横濱 英紀	H18.7.1									
	西川 嘉輝	H26.5.12									

歴代 横浜市緑の協会 評議員

	氏 名	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)	令和 6 年度 (2024 年度)
評 議 員	三 箸 宜子	H16.4.1 6.30									
	小 野 耕一	6.17						6.24			
	小 林 正幸					4.1	3.31		6.25		
	松 本 守	H24.4.1		6.14							
	藤 吉 信之				6.15						
	山 田 幸子	H11.4.1									
	ヒサクニヒコ	H11.4.1									
	日 野 晶也	H24.4.1				7.22					
	諸 坂 佐利						7.23				
	大 熊 洋二	6.27	3.31								
	野 村 宜彦			4.1	3.31						
	遠 藤 賢也							4.1		3.31	
	小 池 恭一				6.15				6.23		
	栗 田 るみ									6.24	
	鈴 木 貴晶										4.1

管理施設一覧 (公園・横浜山手西洋館・動物園)

※令和6年度(2024年度)現在

●公園

施設名	所在地
馬場花木園 旧藤本家住宅	鶴見区馬場 2-20-1
岸根公園	港北区岸根町 725
三ツ沢公園	神奈川区三ツ沢西町 3-1
元町公園	中区元町 1-77-4
山手イタリア山庭園	中区山手町 16
山手公園	中区山手町 230
根岸森林公園	中区根岸台
横浜市こども植物園	南区六ツ川 3-122
横浜市児童遊園地	保土ヶ谷区狩場町 213
富岡総合公園	金沢区富岡東 2-9
長浜公園	金沢区長浜 106-6
海の公園	金沢区海の公園 10
野島公園 旧伊藤博文金沢別邸	金沢区野島町 24
金沢八景権現山公園	金沢区瀬戸 20-3
俣野公園	戸塚区俣野町 1367-1
俣野別邸庭園	戸塚区東俣野町 80-1

●横浜山手西洋館

施設名	所在地
外交官の家	中区山手町 16
ブラフ 18 番館	中区山手町 16
ベーリック・ホール	中区山手町 72
エリスマン邸	中区元町 1-77-4
山手 234 番館	中区山手町 234-1
横浜市イギリス館	中区山手町 115-3
山手 111 番館	中区山手町 111

●動物園

施設名	所在地
よこはま動物園ズーラシア	旭区上白根町 1175-1
野毛山動物園	西区老松町 63-10
金沢動物園	金沢区釜利谷東 5-15-1
万騎が原ちびっこ動物園	旭区大池町 65-1



公益財団法人 横浜市緑の協会

〒231-0021 横浜市中区日本大通58番地 日本大通ビル2階

電話：045-228-9420 FAX：045-680-2031

ホームページ <https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/>

発行 公益財団法人 横浜市緑の協会 令和7年(2025年)2月発行

制作／印刷 善友印刷株式会社

40年のあゆみ

公益財団法人 横浜市緑の協会

